

平成30年度第1回瀬戸・高松広域連携中枢都市圏推進委員会

日 時 平成30年11月26日(月)

午前10時30分～正午

場 所 高松市防災合同庁舎3階災害対策本部室

次 第

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 事

(1) 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の目標達成状況及び

取組事業の評価等について（対象：平成29年度実施事業）

(2) 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏における取組事業の新規・拡充等について

（平成31（2019）年度以降実施分）

・データ利活用型スマートシティ推進事業について

(3) その他

・圏域愛称について

4 閉 会

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏推進委員会委員名簿

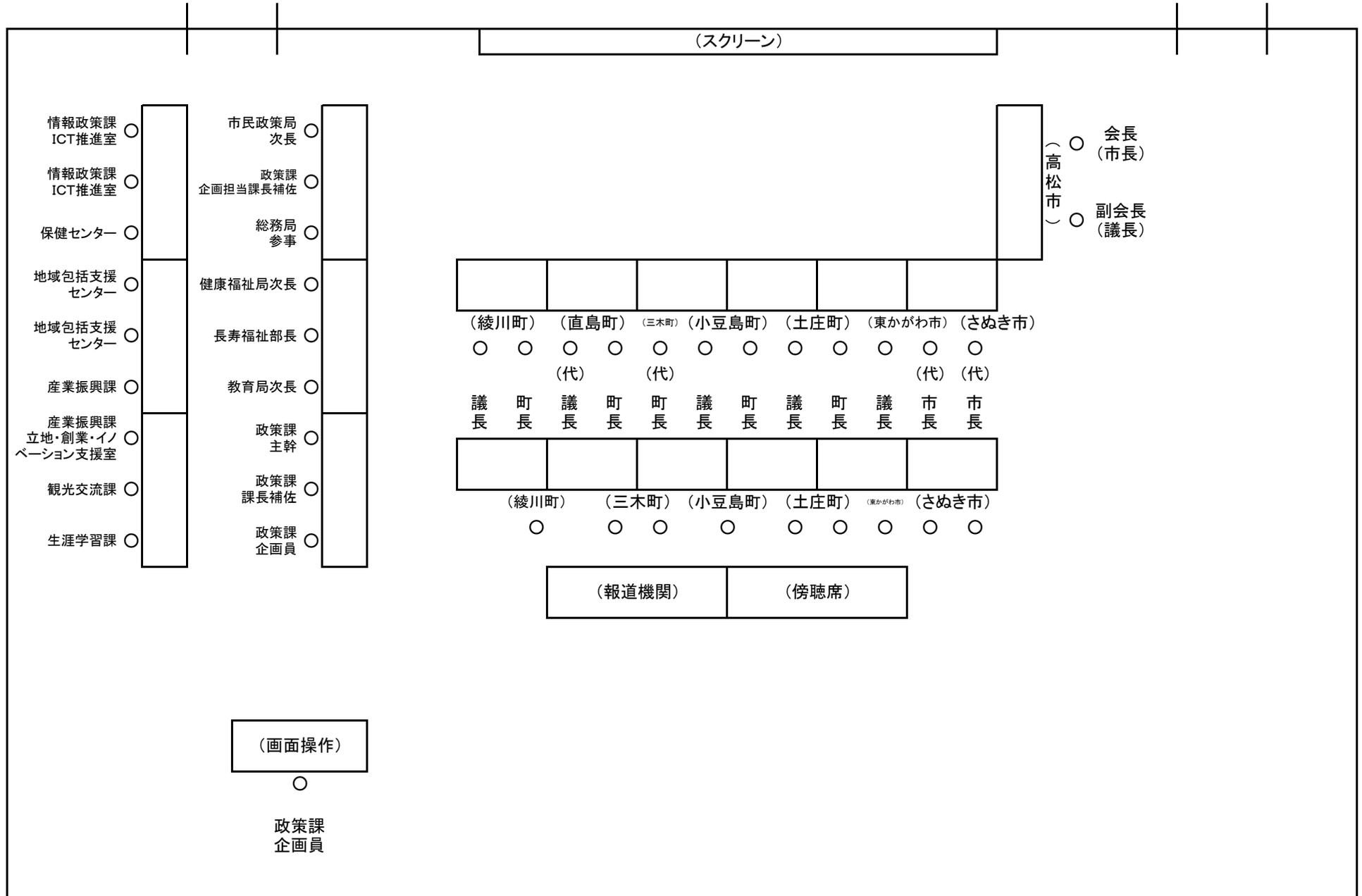
(敬称略)

市・町	市長・町長	議長
高松市	<small>おおにし</small> ◎大西 <small>ひでと</small> 秀人	<small>ふたがわ</small> ○二川 <small>こうぞう</small> 浩三
さぬき市	<small>おおやま</small> 大山 <small>しげき</small> 茂樹 <small>きくち</small> (代) 菊池 <small>ひとし</small> 等	<small>たかしま</small> (欠)高嶋 <small>まさとも</small> 正朋
東かがわ市	<small>ふじい</small> 藤井 <small>ひでき</small> 秀城 <small>まつおか</small> (代) 松岡 <small>みどり</small>	<small>いのうえ</small> 井上 <small>ひろし</small> 弘志
土庄町	<small>さえぐさ</small> 三枝 <small>くにひこ</small> 邦彦	<small>いのうえ</small> 井上 <small>まさきよ</small> 正清
小豆島町	<small>まつもと</small> 松本 <small>あつし</small> 篤	<small>たに</small> 谷 <small>やすお</small> 康男
三木町	<small>いとう</small> 伊藤 <small>よしはる</small> 良春 <small>とよしま</small> (代) 豊島 <small>つねあき</small> 庸全	<small>たかふじ</small> (欠)高藤 <small>しゅうすけ</small> 周介
直島町	<small>こばやし</small> 小林 <small>しんいち</small> 眞一	<small>よもぎ</small> 蓬 <small>せいじ</small> 清二 <small>いのした</small> (代) 井下 <small>よしお</small> 良雄
綾川町	<small>まえだ</small> 前田 <small>たけとし</small> 武俊	<small>こうの</small> 河野 <small>まさひろ</small> 雅廣

◎ 会長 ○副会長

平成30年度第1回瀬戸・高松広域連携中枢都市圏推進委員会 配席表

日時 平成30年11月26日(月) 午前10時30分～
 場所 高松市防災合同庁舎 3階 災害対策本部室



「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」の目標達成状況
及び
取組事業の評価等について
(対象:平成29年度実施事業)

「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」の目標達成状況について

1-1 圏域の目標

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンでは、目指すべき将来像を「輝きと活力にあふれ 島、街、里が織りなす 創造性豊かな交流圏域」とし、下記目標を掲げている。

【圏域人口の目標】

2023年度に57万人程度

区 分		実 績		
		平成22年 (2010)	平成32年 (2020)	平成35年 (2023)
実 数	総人口	59.4	57.7	57.0
	0～14歳	7.9	7.0	6.8
	15～64歳	36.5	32.1	31.5
	(内25～39歳)	(11.1)	(8.1)	(8.0)
	65歳以上	15.0	18.5	18.7
構 成 比	総人口	100%	100%	100%
	0～14歳	13.3%	12.1%	11.9%
	15～64歳	61.5%	55.7%	55.2%
	(内25～39歳)	(18.7%)	(14.1%)	(14.0%)
	65歳以上	25.2%	32.1%	32.9%

【圏域の役割別成果指標と目標値】

圏域の役割	成果指標	現状値	目標値 (平成35年度)
圏域全体の 経済成長のけん引	圏域における民営事業所の 従業者数 (公務を除く全産業)	273,981人 (平成26年7月1日時点)	28万人程度
	香川県への再来訪意向割合 (香川県への再来訪意向 における「ぜひ来たい 人」の割合)	48.2% (平成26年度)	60.0%
高次の 都市機能の集積・強化	「JR高松駅」と「ことடன் 瓦町駅」の1日平均乗降人 員数	37,098人 (平成26年度) ※24,648人 (JR高松駅) ※12,450人 (ことடன்瓦町駅)	4万人程度
	高松発着の航路便数	往復81.5便 (平成27年3月時点)	往復81.5便
	高松空港の利用者数	173万人 (平成26年度)	199万人
圏域全体の生活関連機能 サービスの向上	圏域全体の合計特殊出生率 (各市町の加重平均での 参考値)	1.55 (平成22年)	1.70程度
	圏域全体での若者世代 (25～39歳)の人口	110,996人 (平成22年10月1日時点)	8万人程度

「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」の目標達成状況について

1-2 圏域人口の目標

平成29年10月1日時点で、圏域人口は約58万1千人である。平成30年3月に公表された国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の最新推計値では、平成32(2020)年には、57万3千人強と、ビジョンの人口目標を下回る結果が予想されているが、若者世代(25-39歳)人口については、ビジョンにおける2020年度目標を達成できると考えられ、若者世代を呼び込む各市町及び連携事業の効果が人口動態に影響していると推測される。

区分	策定時 (H22.10)	現状値 (H29.10)	H32(2020)		目標値 (2023)
			(ビジョン目標)	(社人研推計)	
総人口	594,000人	581,305人	577,000人	573,812人	570,000人
0-14歳	79,000人	73,211人	70,000人	68,605人	68,000人
15-64歳	365,000人	331,282人	321,000人	324,125人	315,000人
(25-39歳)	(111,000人)	(87,808人)	(81,000人)	(81,289人)	(80,000人)
65歳-	150,000人	176,813人	185,000人	181,082人	187,000人
〈総人口に占める 65歳以上構成比〉	〈25.2%〉	〈 30.4% 〉	〈32.1%〉	〈 31.6% 〉	〈32.9%〉

「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」の目標達成状況について

1-3 圏域の役割別成果指標と目標値

(圏域全体の経済成長のけん引)

圏域における民営事業所の従業者数は、圏域人口の推移に応じて減少しており、未就業者の就業を促す必要があると考えられる。

また、香川県への再来訪意向割合については、平成27年度より調査項目が細分化されたため、参考値となるが、平成27年度から順調に増加している。

圏域の役割	成果指標	策定時	現状値	目標値 (2023)
圏域全体の 経済成長の けん引	圏域における民営事業所の 従業者数 (公務を除く全産業)	273,981人 (H26.7)	266,757人 (H28.7)	280,000人 程度
	香川県への再来訪意向割合 (香川県への再来訪意向における 「ぜひ来たい人」の割合)	48.2%(H26)	35.5%(H29) 76.9%※	60.0%
		※H27より項目数増加のため、「ぜひ来たい」、 「来たい」の合計値を併記		

「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」の目標達成状況について

1-3 圏域の役割別成果指標と目標値

(高次の都市機能の集積・強化)

JR高松駅及びことでん瓦町駅の1日平均乗降人員数は目標値を超える状況となっており、高松空港の利用者数とともに公共交通機関の利用状況が拡大しているが、高松発着の航路便数については、策定時に比べ、10便減少しており、圏域の海上交通の維持が課題となっている。

圏域の役割	成果指標	策定時	現状値	目標値 (2023)
高次の 都市機能の 集積・強化	「JR高松駅」と「ことでん瓦町駅」の1日平均乗降人員数	37,098人(H26) JR:24,648人 ことでん:12,450人	40,105人(H30) JR:25,882人 ことでん:14,223人	40,000人程度
	高松発着の航路便数	往復81.5便 (H27.3)	往復71.5便 (H30.4)	往復81.5便
	※高松-宇野 △5 高松-草壁(高速船) △5			
	高松空港の利用者数	1,730,000人 (H26)	1,953,265人 (H29)	1,990,000人

「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」の目標達成状況について

1-3 圏域の役割別成果指標と目標値

(圏域全体の生活関連機能サービスの向上)

圏域全体の若者世代の人口は、目標値を上回る状態であり、若者世代を呼び込む各市町及び連携事業の効果が人口動態に影響していると考えられるが、今後、いかに人材の還流を維持・喚起させるかが課題である。

圏域の役割	成果指標	策定時	現状値	目標値 (2023)
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	圏域全体の合計特殊出生率 (各市町の加重平均での参考値)	1.55(H22)	※	1.70程度
	圏域全体の若者世代(25-39歳)の人口	110,996人 (H22.10)	87,808人 (H29.10)	80,000人程度

※最新値 (H27) はH31.2頃に公表予定

「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」の取組事業の評価等について (対象:平成29年度実施事業)

2-1 評価の目的

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンに基づく、事業の取組状況について、総合的な観点から検証・評価を実施することで、適切な進行管理を行う。

- ※ ビジョン掲載71事業のうち、次の6事業を除く65事業(66指標)について評価を実施した。
 - ・再掲(重複)事業:3事業
 - ・30年度以降に実施する事業:2事業
 - ・ビジョン対象外移行予定事業:1事業

2-2 評価の方法

取組事業ごとに設定しているKPI(成果指標)を基に、成果の達成度等について、連携中枢都市において評価を実施するとともに、連携市町においても一定の評価を行う。なお、この評価の結果については、外部の有識者で構成されるビジョン懇談会からも、意見・提案を受けるなかで、PDCAサイクルを回していく。

2-3 評価の基準

- (1) 連携中枢都市 KPIによる成果の達成度、妥当性、有効性、効率性から評価
- (2) 連携市町 成果の達成度、妥当性、有効性から評価

2-3 評価の基準

(1) 連携中枢都市

	評 価	点数	
		KPI設定 事業	KPI設定 対象外事業
成果の達成度	成果に対する達成度はどうだったか		
	評価対象年度の目標値に対する達成率	70×達成率	
妥当性評価	事業の目的・手法は圏域住民ニーズや社会情勢に照らして、妥当か		
	A 妥当である	10	10
	B 市民からの要望等が寄せられている等、改善の余地がある	7	7
	C 利用者が少ない等、大幅な見直しが必要である	4	4
	D 圏域住民ニーズに合っていない	0	0
有効性評価	圏域全体の経済成長のけん引、高次都市機能の集積・強化又は圏域全体の生活関連機能サービスの向上に貢献しているか		
	A 貢献が大きい	10	10
	B 貢献が中程度／義務的事業	7	7
	C 貢献が小さい	4	4
	D 全く貢献していない	0	0
効率性評価	費用対効果はどうだったか		
	A 向上している	10	10
	B 同程度	7	7
	C 低下している	4	4
	D 10%以上低下している	0	0
総得点		100	30

得点率 (総得点の86%以上)	A
得点率 (総得点の71%以上86%未満)	B
得点率 (総得点の56%以上71%未満)	C
得点率 (総得点の56%未満)	D

(2) 連携市町

	評 価	点数
成果の達成度	成果に対する達成度はどうだったか	
	A ビジョンの成果が達成されている等、十分成果があがっている	50
	B 成果があがっているが、更なる取組による成果向上の余地がある	35
	C 一定の成果があがっているが、課題もあり、更なる改善が必要である	28
	D 高松市が検討中、未着手である	0
— 評価できない		
妥当性評価	事業の目的・手法は圏域住民ニーズや社会情勢に照らして、妥当か	
	A 妥当である (ビジョン策定時と変わらない)	25
	B 圏域住民からの要望等が寄せられている等、改善の余地がある	18
	C 利用者が少ない等、大幅な見直しが必要である	14
	D 圏域住民ニーズに合っていない	0
有効性評価	圏域全体の経済成長のけん引、高次都市機能の集積・強化又は圏域全体の生活関連機能サービスの向上に貢献しているか	
	A 貢献が大きい (ビジョン策定時と変わらない)	25
	B 貢献が中程度／義務的事業	18
	C 貢献が小さい	14
	D 全く貢献していない	0
総得点		100

上記評価基準により得点率を算出し、左表により分類

2-4 評価結果一覧(H29) (1/2)

連携協約項目		頁	事業(取組)名	高松市	連携市町評価													
					さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町	綾川町							
1	圏域全体の経済成長のけん引	ア	産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等	3	産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等	A	A	A	A	B	A	B	A					
			イ	産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	4	中小企業経営力強化事業	A			B	C							
			ウ	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	5	ブランド農産物育成支援事業	A	B	B	B					B			
		イ	戦略的な観光施策	6	誘客促進事業観光連携協議会等の設置・運営	6		※30年度以降事業										
				7	国内誘客促進事業	7		B	B	D	B	B	B	B	B			
				8	海外誘客促進事業	8		A	B	A	B	B	B	C	B			
				9	国内外観光客向け情報発信事業	9		B	B	C	B	B	B	C	B			
				10	瀬戸内国際芸術祭推進事業	10		A	A		A	A		A				
				11	新たな観光プランの企画、販売等	11		B	B	C	C	C	B	C	C			
				12	イベント交流の促進	12		A	B	B	B	B	A	C	B			
				13	デリバリー・アーツ事業	13		A	B	B	C				B			
				14	文化芸術鑑賞等の機会の提供(劇団四季ミュージカル鑑賞)	14		A	B	C	A	A	A	A	A			
				14	文化芸術鑑賞等の機会の提供(美術館学習)	14		C	B	C	A	A	A	C	A			
				15	観光バリアフリーのためのU Dマップ作成・活用事業	15		A	A	D	B	B	B	C	D			
				2	高次の都市機能の集積・強化	ア	高度な医療サービスの提供	17	医療人材の確保・育成	A					A			
イ	高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	17	医療職員の交流等				D	B		B	B	B		B				
ウ	高等教育・研究開発の環境整備	18	ICカードを利用した公共交通利用促進事業			18		A	B		B	A	B		A			
	19	大学等と連携した、将来の圏域を担うリーダーの育成	19				A	B	B	B	C	B	C	B				
3	圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	(ア) 地域医療	20	産学官連携推進事業	20		A	B	B	C	C	B	C	B			
				21	高松市民病院・塩江分院・香川診療所運営事業	21		A				C	C	B	C	C		
				22	救急医療体制の確保	22		A						B	A	A		
				23	救急艇の活用	23		A			A	A			C			
				24	島しょ部(土庄町及び小豆島町)への医師派遣事業	24		A			A	A						
				25	遠隔医療ネットワークを使った連携	25		A	B		A	C	B			B		
				26	「在宅療養後方支援病院」の施設基準取得及び「地域包括ケア病棟」設置事業	26		A	B		C	C	B			D		
				イ	(イ) 介護	27	地域密着型サービス(認知症対応型共同生活介護) 広域利用事業	27		A						C		
						28	在宅医療・介護連携推進事業	28		A						A	C	
						29	地域包括支援センター運営事業	29		A			B	B	B			C
		30	認知症ケア推進事業			30		A			C	B	B			C		
		31	地域ケア会議推進事業			31		B			C	B	A			C		
		32	徘徊高齢者保護ネットワーク			32		A	B	B				B		B		
		33	介護認定審査会事業			33		A						A	A	A		
		ウ	(ウ) 福祉			34	自立支援協議会運営事業	34		A					A	A		
						35	障害支援区分等審査会業務の連携	35		A					A	A	A	
						36	ファミリー・サポート・センター事業	36		A	B				B			B
				イ	(イ) 教育・文化・スポーツ	37	移動図書館巡回事業	37		A						A		
						38	読書推進ボランティア養成事業	38		B	C	B	C	B	C	C	C	B
						39	帰国児童等支援事業	39		A						C		B
39	特別支援教育推進連携事業					39		A			B	B	B			B		
40	子ども未来館学習体験事業					40		A	B		A	A	A	A	A	B		
41	史跡・遺跡の調査研究及び発信					41		A	B	A	B							
42	高松市埋蔵文化財センターの運営			42		A	B	C	C	B				B				
43	中学校総合体育大会等の連携	43		A						A	B							
44	高松市屋島陸上競技場の活用	44		B	B	C	C	C	C	C	C	B						
45	地域密着型トップスポーツチームの試合観戦機会等の提供	45		B	B	B	A	B	C	B	B	B						

2-4 評価結果一覧(H29) (2/2)

連携協約項目	頁	事業(取組)名	高松市	連携市町評価							
				さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町	綾川町	
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア 生活機能の強化に係る政策分野	(オ) 地域振興	46 グリーン・ツーリズム等農業振興事業	A		C	A	B			
			47 獣害対策事業	A				B			
			48 産学官連携推進事業【再掲】	※再掲事業							
			49 生涯学習推進事業	B		C	C				
			50 男女共同参画センター学習研修事業	B		B	B			B	
		(カ) 災害対策	51 災害時相互応援協定	A	A	A	A	A	A	A	A
			52 香川県消防相互応援協定	A	A	A	A	A	A	A	A
			53 高松空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	A				A		A	
			54 消防業務の事務委託	A				A		A	
			55 地域防災対策事業	A					B		
	(キ) 環境	56 一般廃棄物の処理・処分に関する業務	A						A		
		57 し尿処理に関する業務	B				A		A		
		58 環境学習等推進事業	B	C	B	C	B	C	B	B	
		59 環境負荷の少ない自動車の普及促進	B	C	B	C	C	C	B	B	
		60 小型家電等リサイクル推進事業	C	B	B	C	C	B	A	B	
		61 不法投棄対策事業の推進	B	B	A	B	A	B	B	A	
	イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	(ア) 地域公共交通	62 ICカードを利用した公共交通利用促進事業【再掲】	※再掲事業							
			63 コピカ等へのIruCa導入事業	A	B		C	A	B		B
			64 地域公共交通再編事業	※30年度以降事業							
		(イ) 道路等の交通インフラの整備・維持	65 橋りょう改築修繕事業	B	A	A	A	C	B	C	B
			66 道路新設改良事業	B	A		A		B		B
(ウ) 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消		※再掲事業									
		(エ) 地域内外の住民との交流・移住促進	68 自然体験等を通じた住民の交流の促進	A	B	B	C	B	B		B
ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	69 移住・交流促進事業	B	B	B	B	A	B	C	B		
	70 人材育成事業、合同研修等の実施	B	B	A	B	A	A	B	A		
	71 地域コミュニティ人材養成事業	B	B	B	C	B	B	B	B		

	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町	綾川町
A・B	95.5% (93.7%→)	92.1% (38.2%↑)	73.3% (89.3%↓)	62.5% (50.0%↑)	72.7% (46.2%↑)	88.5% (56.5%↑)	56.8% (54.5%→)	86.3% (47.8%↑)
C・D	4.5%	7.9%	26.7%	37.5%	27.3%	11.5%	43.2%	13.7%

2-5 評価の高い事業及び評価の低い事業

「評価の高い事業」

評価区分	事業（取組）	※H28年度実績
<p>全体的に 評価が高い事業</p> <p>高松市、連携市町の 評価が</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 全てA・B ■ 半数以上がA <p>(16事業→21事業)</p>	(3)産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等	(3)産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等
	(10)瀬戸内国際芸術祭推進事業	
	(17)医療人材の確保・育成	(17)医療人材の確保・育成
	(18)ICカードを利用した公共交通利用促進事業	
	(22)救急医療体制の確保	(22)救急医療体制の確保
	(24)島しょ部(土庄町及び小豆島町)への医師派遣事業	(24)島しょ部(土庄町及び小豆島町)への医師派遣事業
	(33)介護認定審査会事業	(33)介護認定審査会事業
	(34)自立支援協議会運営事業	(34)自立支援協議会運営事業
	(35)障害支援区分等審査会業務の連携	(35)障害支援区分等審査会業務の連携
	(37)移動図書館巡回事業	(37)移動図書館巡回事業
	(40)こども未来館学習体験事業	
	(43)中学校総合体育大会等の連携	(43)中学校総合体育大会等の連携
	(47)獣害対策事業	
	(51)災害時相互応援協定	(51)災害時相互応援協定
	(52)香川県消防相互応援協定	(52)香川県消防相互応援協定
	(53)高松空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	(53)高松空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定
	(54)消防業務の事務委託	(54)消防業務の事務委託
	(55)地域防災対策事業	(55)地域防災対策事業
	(56)一般廃棄物の処理・処分に関する業務	(56)一般廃棄物の処理・処分に関する業務
	(57)し尿処理に関する業務	(57)し尿処理に関する業務
	(70)人材育成事業、合同研修等の実施	

2-5 評価の高い事業及び評価の低い事業

≪評価の低い事業≫

評価区分	事業（取組）	※H28年度実績
<p>全体的に 評価が低い事業</p> <p>高松市、連携市町の 評価が ■半数以上がC・D</p> <p>(17事業→6事業)</p>	(11)新たな観光プランの企画、販売等	(11)新たな観光プランの企画、販売等
		(13)デリバリーアーツ事業
		(17)医療職員の交流等
		(20)産学官連携推進事業
	(21)高松市民病院・塩江分院・香川診療所運営事業	(21)高松市民病院・塩江分院・香川診療所運営事業
		(29)地域包括支援センター運営事業
		(30)認知症ケア会議推進事業
		(31)地域ケア会議推進事業
	(38)読書推進ボランティア養成事業	(38)読書推進ボランティア養成事業
		(39)帰国児童等支援事業
		(39)特別支援教育推進連携事業
		(42)高松市埋蔵文化財センターの運営
	(44)高松市屋島陸上競技場の活用	
	(49)生涯学習推進事業	(49)生涯学習推進事業
		(50)男女共同参画センター学習研修事業
		(58)環境学習等推進事業
(59)環境負荷の少ない自動車の普及促進	(59)環境負荷の少ない自動車の普及促進	
	(63)コミバス等へのIruCa導入事業	

今後の取組方針

・ビジョン策定時から、KPI(成果指標)の達成度による、連携中枢都市圏ビジョンの的確な進捗管理を行うこととしている。

なお、KPIについては、進行管理を行う中で、適宜、見直しを行う。

・高齢者人口が最大となる2040年頃の自治体行政について、総務省が主催する研究会「自治体戦略2040構想研究会」の研究報告や、地方制度調査会の動きを注視しながら、取組の充実や、制度の更なる周知に努める。

・今後、**圏域全体で重点とするテーマ、ターゲットを設定**し、圏域全体で、一体感を持って取り組むとともに、連携中枢都市圏構想の特長である、**連携中枢都市と各連携市町間で、各市町の実情に対応した個別の連携が可能である**点を生かした、戦略的かつ効率的に連携を推進していく必要がある。



瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン取組事業の評価等について（平成29年度実施事業）

参考

連携協約項目	頁	事業（取組）名	KPI（成果目標）							連携市町評価						H29年度高松市取組実績	連携市町の評価の理由				
			KPI	KPI説明	単位	29年度目標	29年度実績	達成率	H29年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町	綾川町		
1 圏域全体の経済成長のけん引	ア	産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等	3	圏域全体の経済成長のけん引等に係る連携事業数	事業	14	13	92.9	H35年度までに、4事業を追加することとしており、計画期間前半の2年間で1事業を追加する。 H29年度には、新規・拡充事業の検討を行ったが、当該分野に係る新規事業の追加には至らなかった。	A	A	A	A	B	A	B	A	ビジョン懇談会を年間2回開催した。今年度は、進捗管理のためのKPIの設定とそれに基づく評価を開始したが、ビジョンの「圏域全体の経済のけん引」の分野に係る新規・拡充事業について、新規事業の追加には至らなかった。	【さぬき市】産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等は非常に意義があると思われるが、取組が進んでいないため。 【土庄町】産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等が適正になされた。 【小豆島町】各連携市町から委員が参加し、連携協力できた。 【三木町】今後も産学金官民一体となって連携や交流をしていく必要がある。 【直島町】ビジョン懇談会など積極的に参加できた。 【綾川町】産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等が適正になされた。		
	イ	産学クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	4	中小企業経営力強化事業	講習会等受講者数	人	2,350	2,091	89.0	受講者数については第6次総合計画の指標にもなっており、目標設定は総合計画と同数にしている（H26年度実績2271人を現況値として毎年度25人増）。 H29年度は、2,000人以上の受講を得ることはできたが、毎年度相当数の受講があり、見直しの余地がないメニュー（確定申告相談会等）の受講者数が昨年度より減ったことにより、目標値には届かなかった。	A							B	C	H29年度は、「プレゼン資料の作り方」など、年16回の講習会を開催した。前年度と同じ事業費（共催負担金1,600千円）で開催回数を維持し、企業ニーズに合わせた内容で実施したことにより、目標に近い受講者数は確保できた。	【土庄町】実績あり 【小豆島町】実績なしのため
	ウ	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	5	ブランド農産物育成支援事業	たかまつ食と農のフェスタにおける出展者販売額	千円	9,400	9,621	102.4	○H28年度の目標設定方法：過去の実績を基に目標値を設定している。 ○目標値に対する実績の理由：たかまつ食と農のフェスタの来客数も多く、目標額以上の実績になった。	A	B	B	B				B	たかまつ食と農のフェスタを開催し、連携市町からも出展してもらい、地域の特産物のPR及び販売促進を図った。	【さぬき市】たかまつ食と農フェスタにさぬき市から3団体の出展があり、多くの消費者の方に対して特産品のPR及び販売促進が図られた。 【東かがわ市】東かがわ市農作物トップセールスを実施したが、連携したPRには至っていない。 【土庄町】圏域と連携を図りつつ運営及び情報発信を行った点は評価。今後の継続的な展開について課題。 【綾川町】同時期に町のイベント実施もあり、たかまつ食と農のフェスタに参加できなかった。	
I 戦略的な観光施策	7	国内誘客促進事業	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	6,800	6,818	100.3	【目標の設定方法】首都圏における航空国内定期路線利用者を対象に本市をPRすることによって、本市への誘客につなげる。 【目標値に対する実績の理由】本市を効果的にPRすることにより、入込客数を増加させることができた。	B	B	D	B	B	B	B	B	航空会社と連携し、様々な媒体を通してのPR、羽田空港でのPRイベント等を行った。また、東京モノレールの車両内窓上に広告を掲出し、本市のPRを行った。	【さぬき市】協力体制についてのプランができていないため 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】観光やイベント情報提供・発信により圏域の観光振興を図っている。引き続き圏域及び地域と連携し、観光振興に努めたい。 【小豆島町】こうまつりにおいて、県・高松市・小豆島町でジャンボフェリーによる、関西圏からの誘客を進めるPR活動を共同で行い、誘客活動が図れた。 【三木町】観光資源の再発掘と観光事業や情報発信等の見直しを進め、高松市と近隣市町との連携を強化していくことで改善を図る必要がある。 【直島町】違法駐車取り締まりや、イルミネーションの実施での受け入れ環境の整備が図られた。 【綾川町】実績なし。		
		8	海外誘客促進事業	香川県外国人延べ宿泊数	香川県内の外国人延べ宿泊者数	人	400,000	453,460	113.4	【目標の設定方法】政府目標である「訪日外国人数を2020年に4000万人」の伸び率を上回る宿泊者数の増加を目指す。 【目標値に対する実績の理由】平成29年も前年と同様に香川県の外国人延べ宿泊者数を伸ばしており、目標値よりも多くの外国人観光客が本市を訪れた。	A	B	A	B	B	B	C	B	高松空港と定期航路で結ばれた台北、上海、ソウル、香港からの観光客を誘致するため、公益社団法人香川県観光協会に対し、補助を行うとともに、公益財団法人 高松観光コンベンション・ビューローが実施する誘客事業に対し補助を行った。 平成29年の香川県の外国人延べ宿泊客数は453,460人泊（速報値）となっており、対前年比+26.5%で、5年前（平成24年）からの伸び率が全国1位の10.52倍を記録した。	【さぬき市】協力体制についてのプランができていないため 【東かがわ市】香港にて総領事館や観光局へ営業を行い誘客促進を図った。 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】インバウンド、特に中国、台湾、韓国を中心とした海外観光客は近年、増加の一途をたどり、圏域の観光業を中心とした経済効果は非常に高いと思われる。また、インバウンドに向けた外国語標記等の対策については今後も整備を強化する必要がある。 【三木町】観光資源の再発掘と観光事業や情報発信等の見直しを進め、高松市と近隣市町との連携を強化していくことで改善を図る必要がある。 【直島町】外国人観光客の増加を実感することができるが、本事業の成果を実感できない。 【綾川町】県が発行した中国語版の観光パンフレットに加え、中讃エリアでH29年度に英語版の観光パンフレットを作成した。	
		9	国内外観光客向け情報発信事業	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	6,800	6,818	100.3	【目標の設定方法】本事業に取り組むことで、圏域への誘客を促進し、観光施設利用者の増加を図るもの。 【目標値に対する実績の理由】塩江地区の施設が休館した影響もあったが、前年度実績に近い利用者数を達成することができた。	B	B	C	B	B	B	C	B	外国人向けホームページをリニューアルし、SNSとの連携やスマホやタブレットの表示最適化に対応した。	【さぬき市】協力体制についてのプランができていないため 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】特にインバウンド対策の整備を進めているが、その効果についての検証が十分に図れていない。 【小豆島町】国内観光客への情報提供はほぼ満足いく発信ができていると思うが、インバウンド対策は、瀬戸内国際芸術祭などで少しずつ整備が整ってきているが、まだまだ改善の余地がある。 【三木町】観光資源の再発掘と観光事業や情報発信等の見直しを進め、高松市と近隣市町との連携を強化していくことで改善を図る必要がある。 【直島町】具体的な成果を実感できない。 【綾川町】観光協会ホームページを整備したものの、会員の情報をより多く提供するまでには至らなかった。	

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン取組事業の評価等について（平成29年度実施事業）

参考

連携協約項目	頁	事業（取組）名	KPI（成果目標）						連携市町評価						H29年度高松市取組実績	連携市町の評価の理由			
			KPI	KPI説明	単位	29年度目標	29年度実績	達成率	H29年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町			三木町	直島町	綾川町
	10	瀬戸内国際芸術祭推進事業	-	-	-	-	-	-	瀬戸内国際芸術祭2013の来場者数を基に目標値を算出する。会場毎に基準施設を設け、その来場者数を集計し、実績値とする。	A			A	A			A	ART SETOUCHI 2017の開催と、瀬戸内国際芸術祭2019開催に向けた準備を行った。	【土庄町】他県からの観光客はもとより、国外からの来場者が増えた。瀬戸内国際芸術祭の知名度がより広く浸透している。 【小豆島町】瀬戸内国際芸術祭の既存作品やアーティスト等の関係を継続することで、より地域に根差した取り組みとなっている。 【直島町】具体的な成果を実感できない。
	11	新たな観光プランの企画、販売等	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	6,800	6,818	100.3	【目標の設定方法】首都圏における航空国内定期路線利用者を対象に本市をPRすることによって、本市への誘客につなげる。 【目標値に対する実績の理由】本市を効果的にPRすることにより、入込客数を増加させることができた。	B	B	C	C	C	B	C	C	昨年に引き続き、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の観光振興のため、(公財)高松観光コンベンション・ビューローが作成する「ぶち旅プラン(着地型旅行商品)」の企画・販売事業を支援した。 コース数 8コース 参加者数 86名	【さぬき市】協力体制についてのプランができていないため 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】特有の観光資源やイベント等を観光客誘致に活用しているが、もう一つの役割である高松観光コンベンション・ビューローの賛助会員等として、同財団の実施する企画・販売事業の支援ができていない状況であり、その支援方法等どのような形で連携できるかが課題である。 【小豆島町】実績なしのため 【三木町】観光資源の再発掘と観光事業や情報発信等の見直しを進め、高松市と近隣市町との連携を強化していくことで改善を図る必要がある。 【直島町】具体的な成果を実感できない。 【綾川町】実績なし。
	12	イベント交流の促進	まつり・イベント入込み客数	観光客誘致に資するまつり・イベント実行団体発表の入込み客数をカウント	人	1,305,700	1,043,351	79.9	【目標の設定方法】高松まつりの在り方を検討することで、圏域への誘客を促進し、まつり・イベント集客数増加に繋げる。 【目標値に対する実績の理由】高松冬のまつりなどが廃止になったため、前年度入込客数を上回ることができなかった。	A	B	B	B	B	A	C	B	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏で最大級のイベントである高松まつりの在り方検討委員会を設置し、協議を行った。地域のプロスポーツチームとの連携など様々な取り組みを実施することとした。	【さぬき市】協力体制についてのプランができていないため 【東かがわ市】圏域内に「引田ひなまつり」や「風の港まつり」などのイベント周知宣伝活動を行った。 【土庄町】観光やイベント情報提供・発信により圏域の観光振興を図っている。引き続き圏域及び地域と連携し、観光振興に努めたい。 【小豆島町】圏域全体で観光振興を行うことで、全体のPRにつながる。 【三木町】地域の魅力や知名度アップによる観光客誘致等の経済波及効果が期待される。 【直島町】具体的な成果を実感できない。 【綾川町】主基斎田お田植え祭りの2週間前に、交流がある悠紀斎田お田植え祭り(愛知県岡崎市)の際に、綾川町の特産品を現地で販売した。あやがわサマーフェスティバルにおいて、出店団体が配向を凝らして地元の特産品等を販売したりした。ただ、来場者が予想よりも多く、接触事故や周辺エリアが渋滞するなど課題もあった。イベントについては、ホームページ等に掲載して周知を図った。
	13	テリバーアート事業	鑑賞者数	参加を希望される協力団体の提供場所の規模により、鑑賞者数に偏りがあるため、鑑賞者数では判断し難い。限られた予算の中で、公演の質の維持と事業を継続していくことを重点に実施する。	人	1,900	2,050	107.9	事務事業評価と合わせた鑑賞者数で目標設定を行う。 コミュニティセンターなどの大規模な場所よりも老人福祉施設など小規模な場所での開催が増えているため、鑑賞者数が目標値に達成しなかったが、開催した団体からは好評であるため再度実施したいという要望が多く、満足度は高いといえる。市民の身近なところで文化芸術に触れる機会を提供するという事業目的も達成している。	A	B	B	C				B	■開催回数：全16回(うち東かがわ市1回) ■鑑賞者数：2,050人(うち東かがわ市80人) 落語、瀬戸フィルアンサンブル演奏、和太鼓、金管五重奏、あやつり人形劇、尺八コンサート及びサーカスキャラパレードの7メニューで実施。 連携市町に呼びかけ、さぬき市でも実施予定だったが、中止となった。 前年度よりも鑑賞者が393人増えたとともに、開催した団体から好評であり、再度実施したいという要望が多く、満足度が高いといえる。	【さぬき市】今年度は行っていない。 【東かがわ市】身近に芸術に触れる機会となった。 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【綾川町】実績なし。
	14	文化芸術鑑賞等の機会の提供	劇団四季ミュージカル鑑賞者数	児童、先生を合わせた鑑賞者数(連携市町分含む)高松市と連携市町の全6年生を招待しているため、児童数と引率教員数が鑑賞者数となる。平成25年～27年の平均鑑賞者数を基に目標比を算出する。(H25:4,985人、H26:5,323人、H27:5,143人)	人	5,591	5,395	96.5	H26年～28年の平均鑑賞者数を基に目標値を算出する。 児童数と引率教員の合計数がそのまま鑑賞者数となるため、その年の児童数の増減による。	A	B	C	A	A	A	A	A	高松市・さぬき市・土庄町・小豆島町・三木町・直島町・綾川町の全6年生の児童と引率教員が参加。	【さぬき市】演目の内容が、人権教育として友情、仲間について学習できる機会であった。ストーリー中仲間の死に関する描写があったが、小学生6年生にはリアルすぎるように感じた。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】圏内市町の小学校との連携体制ができており、毎年継続的に効果的な運営がなされている。 【小豆島町】通常の授業ではふれあうことのできない文化芸術(ミュージカル)を鑑賞することで、コミュニケーション能力及び情操教育の向上につながっている。 【三木町】鑑賞機会が少ない児童にとつて、本公演は貴重な体験であり、6年生最後の思い出となり、情操教育の一助となっている。 【直島町】圏域内の小学校との連携が密にできているだけでなく、実施体制が確立されており、毎年スムーズな運営ができています。 【綾川町】町単独では、この規模の事業を実施するための十分な施設を有しておらず、管内の児童に芸術鑑賞の機会の提供をすることが難しいが、本事業により、多くの児童に芸術鑑賞の機会を提供することが可能となっているため。
			美術館学習参加校数	高松市立美術館での美術館学習(常設・特別展の鑑賞)参加校数	校	35	20	57.1	H35年度目標をH29年度目標として設定。高松市外からの訪問はなかったが、先方が交通費を負担する必要がある、あるいは移動に時間を要する等の理由によるものと思われる。	C	B	C	B	A	A	C	A	参加校：20校(いずれも高松市内)	【さぬき市】実績なし 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】実績なし 【小豆島町】- 【三木町】実績なし 【直島町】- 【綾川町】町単独では、この規模の事業を実施するための十分な施設を有しておらず、管内の児童に芸術鑑賞の機会の提供をすることが難しいが、本事業により、多くの児童に芸術鑑賞の機会を提供することが可能となっているため。

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン取組事業の評価等について（平成29年度実施事業）

参考

連携協約項目	頁	事業（取組）名	KPI（成果目標）							連携市町評価						H29年度高松市取組実績	連携市町の評価の理由						
			KPI	KPI説明	単位	29年度目標	29年度実績	達成率	H29年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町	綾川町				
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	生活機能の強化に係る政策分野	(ア) 地域医療	21	高松市民病院・塩江分院・香川診療所運営事業	紹介率 逆紹介率 (市民病院)	患者の紹介・逆紹介等の実施により、圏域の医療提供体制の充実が図られるとともに、連携町からの患者を受け入れる。	%	50 70	60 79	122 112.9	地域医療支援病院の要件である紹介率50%以上かつ逆紹介率70%以上	A		C	C	B	C	C	高松市立病院の医療機能を発揮・活用するために、当院の地域医療連携室において、患者の紹介・逆紹介等地域医療連携に取り組み、紹介率61%、逆紹介率79%となった。	【土庄町】病診連携により、連携町からの患者を受け入れやすくなることは評価できるが、紹介率、逆紹介率に関しては、連携町として評価しにくい。 【小豆島町】実績なしのため 【三木町】町立の医療機関を有せず、直接的な取り組みを行っている状況ではないことから、評価をすることが困難である。 【直島町】具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】綾上診療所は、高松市民病院へ十分に紹介できていない。		
				22	救急医療体制の確保	市民満足度における「医療体制の充実」の満足度	休日・夜間における初期及び二次救急医療体制の確保を図ることで、市民が安心して暮らすことのできる環境づくりを目指す。	%	41.5	42.7	102.9	平成28年度から毎年度0.6%ずつ上昇させ、最終年度に45.3%の目標値を設定している。 平成29年度市民満足度調査の結果において42.7%であった。	A					B	A	A	地区医師会への在宅当番医制の委託、歯科救急医療センターにおける休日・夜間歯科診療運営事業への助成、病院群輪番制病院運営事業に対する助成及び夜間急病診療所の指定管理者による運営により、休日・夜間における初期及び二次救急体制の確保を図った。	【三木町】今後も関係市町と連携し、住民が安心して医療を受けられるよう継続して支援をしていく必要がある。 【直島町】救急体制を確保するために十分な支援が行われている。 【綾川町】休日・夜間における初期及び二次救急医療体制の確保を図っていることで、住民が安心して暮らすことのできる環境づくりが確保されている。	
				23	救急艇の活用	-	-	-	-	-	-	-	A		A	A				C	搬送実績（平成29年暦年） 29件	【土庄町】救急艇の活用について連携していることで、救急搬送体制の強化につながっており、成果をあげているが、当町における医療従事者不足による搬送時の負担等課題がある。 【小豆島町】小豆構想区域内で定期航路の無い夜間に発生した小豆島中央病院で対応できない高度医療が必要な救急患者について、高松市との連携において実施する救急艇を用いた島外搬送で、医療連携として重要な事業である。 【直島町】具体的な取り組みに至っていない。	
				24	島しょ部（土庄町及び小豆島町）への医師派遣事業	医師派遣件数	医師の派遣に関する協定に基づき、派遣件数	件	12	12	100	高松市民病院の医師を、島しょ部である小豆島町の自治体病院に派遣した回数	A		A	A						高松市民病院の医師を、島しょ部である小豆島町の自治体病院（小豆島中央病院）に派遣し、小豆島における医療水準の維持・向上に貢献した。	【土庄町】医師の派遣に関する協定に基づく派遣が行われている。 【小豆島町】医師派遣により専門的な診療が行えた。
				25	遠隔医療ネットワークを使った連携	医療情報公開実績件数（H28からの累計）	患者さんの同意に基づき、参加医療機関からの求めに応じた診療情報（画像・カルテ等）の公開件数 年50件、H28～H35までの8か年の累計	件	50	116	232	参加医療機関及びH28の実績を踏まえた目標設定に対し、開業医訪問等時に必要に応じてK-MIXの利用促進を図ったことにより実績は目標を上回った。	A	B	A	C	B			B	かかりつけ医との情報共有を図ることにより、地域における高度かつ効率的な医療の提供に貢献した。	【さぬき市】医療機関の情報連携という構想と運用等手続きに乖離があるため、利用件数は低調である。 【土庄町】救急対応時の手続きの簡素化により、他の医療機関の医療情報を参照するという連携は強化され、一定の成果は上がっている。 【小豆島町】公開件数把握できていないため、評価できない。 【三木町】町立の医療機関を有せず、直接的な取り組みを行っている状況ではないことから、評価をすることが困難である。 【綾川町】ネットワークの利用がなかった。	
				26	「在宅療養後方支援病院」の施設基準取得及び「地域包括ケア病棟」設置事業	-	-	-	-	-	-	平成29年10月から「地域包括ケア病棟」を開設	A	B	C	C	B			D	病床稼働率 63.1% ※H29.10月～H30.3月	【さぬき市】高松市民病院とさぬき市民病院では圏域も違う上に、病院同士の機能面から考えても当該患者の紹介は極めて乏しい。 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】高松市民病院の実績のため評価できない 【三木町】- 【綾川町】-	

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン取組事業の評価等について（平成29年度実施事業）

参考

連携協約項目	頁	事業（取組）名	KPI（成果目標）							連携市町評価						H29年度高松市取組実績	連携市町の評価の理由		
			KPI	KPI説明	単位	29年度目標	29年度実績	達成率	H29年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町	綾川町
(イ) 介護	27	地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）広域利用事業	当該事業所周知率	当該サービス事業者の指導・監督権限を有するため周知を行った割合	%	100.0	100.0	100	当該サービス事業者の指導・監督権限を有する施設を目標値とし、周知を行った件数を実績とした。	A								高松市地域密着型サービス事業者指定に係る制限に関する要綱において、本市域内の地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）については、原則、本市転入後6ヶ月を経過しない者の利用又は入居はできないが、当該サービス事業所がない直島町からの転入者には、6ヶ月が経過していても利用又は入居できる運用とする。（実績：48件）	【直島町】当該サービス事業者が極めて少ない。
	28	在宅医療・介護連携推進事業	多職種連携構築度評価平均得点	多職種連携研修等に参加している専門職による、地域の多職種連携構築度評価の平均得点（最高10点、最低0点）	点	5	5	100	医療・介護関係者が、多職種連携できていると評価した点数は、目標値と同じ点数となり、目標を達成できた。	A					A	C		在宅医療・介護連携推進事業の8事業項目において、更に内容を充実させるため、下記の事業に取り組んだ。 ○在宅ケア便利帳（Web版）の作成 ○市民向け啓発用ちらし及びポスターの作成・配布	【三木町】H28年度に在宅医療・介護連携推進協議会が発足し、一定の成果は上がっているが、今後協議を重ね、取り組みを広げていく必要がある。 【直島町】具体的な取り組みに至っていない。
	29	地域包括支援センター運営事業	自立高齢者率	介護・支援を必要としない65歳以上の高齢者の割合（%）	%	78	79	101.5	第6期高齢者福祉計画にて目標値を設定しており、H29年度の目標達成ができていない。	A		B	B	B		C		新しい総合事業におけるケアマネジメントについて、必要に応じて圏域内自治体と情報交換を行った。	【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】実績なしのため 【三木町】圏域内の市町において情報交換をし、ノウハウの共有や連携することは重要であるが、意見交換会という形式での実施はなかった。 【綾川町】地域包括支援センターとしての広域的な連携が十分にはできていない。
	30	認知症ケア推進事業	認知症サポーター数（H21からの累計）	認知症サポーター養成講座の受講人数（人）	人	43,110	43,814	101.6	高齢者福祉計画にて目標値を設定しておりH28年度の目標は達成している。	A		C	B	B		C		認知症サポーター養成講座の実施や、認知症初期集中支援チーム及び認知症カフェの設置等について、必要に応じて圏域内自治体と情報交換を行った。	【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】実績なしのため 【三木町】認知症サポーター養成講座の受講者は年度によるばらつきはあるものの、地域に認知症の理解者が確実に増えていることは、大切であり、取り組みをさらに継続していく必要がある。 【綾川町】広域的な連携は無く、認知症サポーターの活動に関する情報交換等の機会も無い。
	31	地域ケア会議推進事業	地域課題を解決するための取組をしている地区数	地域ケア小会議（地域福祉ネットワーク会議）において、地域課題を解決するための取組をしている地区数（地区）	地区	48	41	85.4	高齢者保健福祉計画にて目標値を設定している。44コミュニティすべてに地域福祉ネットワーク会議開催を働きかけているが、地域の状況が異なるため目標値を下回った。	B		C	B	A		C		地域ケア小会議（地域課題）の設置運営方法について、必要に応じて圏域内自治体と情報交換を行った。	【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】実績なしのため 【三木町】さまざまな地域課題を解決するため必要なスキルアップと情報共有することに有用な機会である。 【綾川町】地域ケア会議の中で議論されたことが、施策等に反映されるような検討がまだなされていない。市町を超えた広域的な支援対策も不十分である。
	32	徘徊高齢者保護ネットワーク	徘徊高齢者保護ネットワークによる発見率	徘徊高齢者保護ネットワークに提供された、徘徊高齢者の捜索依頼件数に対する発見割合	%	100	100	100	徘徊高齢者の早期発見を目指しているため、目標は全員発見することである。29年度の実績値は、11件の捜索依頼があり、11件すべて発見できたことによるもの。	A	B	B		B		B		認知症高齢者の行方不明事案が発生した場合に、警察署や市役所の関係課、地域コミュニティ協議会などの団体等が互いに連携する「徘徊高齢者保護ネットワーク」を活用し、より広域で徘徊高齢者の情報を共有化することにより、当該高齢者の早期発見に取り組んだ。平成29年度の連携中枢都市圏域でのネットワーク利用は、1件であった。	【さぬき市】徘徊高齢者の保護についてネットワークを構築しているが、今後、ネットワークの活用について、協議していく必要がある。 【東かがわ市】かがわ高齢者見守りネットワークにより広域的に実施 【三木町】実績がないため評価ができないが、取り組みの必要性は高いものと考えている。なお、圏域を超えての広域的な取り組みも想定している。 【綾川町】県事業（警察署含む）としてのネットワーク会議はあるが、広域事業としての会議は無い。

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン取組事業の評価等について（平成29年度実施事業）

参考

連携協約項目	頁	事業（取組）名	KPI（成果目標）							連携市町評価						H29年度高松市取組実績	連携市町の評価の理由						
			KPI	KPI説明	単位	29年度目標	29年度実績	達成率	H29年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町	綾川町				
		39 帰国児童等支援事業	指導を行った件数／指導が必要な帰国児童等	帰国児童等への日本語指導等対応率	%	100	100	100	帰国児童等への日本語指導等に十分に対応でき、児童生徒の円滑な学校生活や学習支援に寄与した。	A											近隣自治体と要支援者情報等について情報を共有し、支援が必要な児童生徒の対応に生かした。また、近隣自治体にも情報提供を行った。	【三木町】支援の実績がないため 【綾川町】実績がないものの、支援体制が整っている。	
		39 特別支援教育推進連携事業	相談訪問件数／相談希望校数	相談希望校等への相談訪問率	%	100	100	100	障がいの種類が複雑になってきており、支援を適正に行う体制整備を行う必要があるなかで、希望した学校にはすべて対応できた。	A			B	B	B						高松市が中心となって高松地域連携推進協議会を運営し、三木町と連携を図った。	【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】実施できていないので、基本的には評価できない。 【三木町】就学前、小中学校の希望する保護者や児童生徒等を対象に検査や教育相談を実施できたため。 【綾川町】実績はないものの、支援体制が整っている。	
		40 こども未来館学習体験事業	こども未来館学習参加校数	こども未来館学習参加校数	校	50	54	108.0	【H29年度の目標設定方法】高松市内の小学校と瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小学校を合わせて、50校としていた。 【目標値に対する実績の理由】高松市内の小学校48校と瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小学校6校を合わせて54校が実施した。	A	B	A	A	A	A	B					こども未来館学習運営委員会開催 こども未来館学習事前研修会開催 こども未来館学習実施	【さぬき市】 科学実験体験は、酸素や二酸化炭素を使つての実験で、なかなか体験のできない実験ができ興味深かった。 平和学習では、高松空襲の様子についての説明があつたが、歴史を未習の小学4年生には難しいと感じた。 【土庄町】町内の小学校の4年生が体験学習に参加した。 【小豆島町】未来館学習に参加することによって、体験して学ぶ・自主的に学ぶことにより、児童の成長につながっている。 【三木町】未来館学習で充実した体験活動ができたため。 【直島町】平成30年度からの参加に向けて取り掛かったばかりであるが、実施体制も確立されている。 【綾川町】町単独では、同様の施設を有しておらず、管内の児童、幼児に体験の機会の提供をすることが難しいが、本施設により、多くの児童、幼児に体験の機会を提供することが可能となっているため。	
		41 史跡・遺跡の調査研究及び発信	講座等参加者数	圏域内の史跡・遺跡の調査研究について、講座等でその成果を紹介し、情報発信を連携して行う。その参加者数	人	4,000	4,241	106.0	講座等を年間通じて実施したほか、出前講座等で遺跡の調査研究の情報発信を分かりやすいように工夫したため。	A	B	A	B								発掘調査現場の見学会の実施 2回実施 一般向けの見学会及び講演会 61回実施 学校向けの見学会・出前講座 8回実施	【さぬき市】今年度は行っていない。 【東かがわ市】圏域自治体にチラシを配布したことにより、市外来訪者が増加した。 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。	
		42 高松市埋蔵文化財センターの運営	施設利用者数	埋蔵文化財の調査技術、調査成果等に関する情報交換を行うとともに、埋蔵文化財の情報発信事業（展示等）のための資料の相互貸借を行う。その利用者数	人	4,000	4,272	106.8	企画展や体験講座を実施して、市民がイベントに参加していただく機会を多く設けたため。	A	B	C	C	B								企画展の開催 2回実施 夏休み講座の開催 4回実施 体験講座 10回実施	【さぬき市】今年度は行っていない。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】調査成果物の交換については、従来実施しているが、県内関係部署間で行っているものなので、中枢連携都市圏構想外のものである。 その他資料貸借等については実施していないため、評価できない 【綾川町】実績なし。
		43 中学校総合体育大会等の連携	中学校総合体育大会等における実施競技数	中学校総合体育大会・中学校新人体育大会における実施競技数に、中学校駅伝競走大会を加えた競技数	競技	18	18	100	目標設定方法の理由：例年実施している競技の大会を継続して開催することにより、体力・運動能力の向上や相互の友情を深めるとともに、教職員の体育指導の資質を高めるなど、体育の充実発展と心身ともに健全な児童生徒の育成を図ることができる。 目標値に対する実績の理由：例年どおりの競技数の大会を開催し、部活動等での練習の成果を発揮することができた。	A						A	B				高松地区総合体育大会、高松地区新人体育大会及び高松地区駅伝競走大会の開催	【三木町】競技力の向上が図られるなど、事業の成果が認められるため。 【直島町】事業について一定の成果が認められる。	

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン取組事業の評価等について（平成29年度実施事業）

参考

連携協約項目	頁	事業（取組）名	KPI（成果目標）							連携市町評価						H29年度高松市取組実績	連携市町の評価の理由		
			KPI	KPI説明	単位	29年度目標	29年度実績	達成率	H29年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町	綾川町
	44	高松市屋島陸上競技場の活用	屋島競技場利用者数	屋島競技場の利用者数（旧屋島陸上競技場閉場前3年間平均値：62,827人）（旧屋島陸上競技場閉場前3年間の平均値：62,827人）	人	80,000	106,436	133.0	旧屋島陸上競技場利用者と比較して、平成31年度時点で利用者数の9割増を目標とするため、各種イベント等を開催し、目標値を上回る結果となった。	B	B	C	C	C	C	C	B	広域連携中枢都市の市民を対象に、オープニングイベントの参加を募った。また、記念式典には各市町宛に出席依頼を送付し、参加いただいた。	【さぬき市】屋島陸上競技場を利用した取組みを行っていないため。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】具体的な成果が把握できていないため、評価できない。 【三木町】イベントが開催されていない 【直島町】小・中学生及び町民の利用やイベント参加は確認できていない。 【綾川町】屋島競技場の市町ごとの利用者数が明確でない。また、町内に陸上競技場があり通常の利用は少ないものと考ええる。
	45	地域密着型トップスポートチームの試合観戦機会等の提供	トップスポートチーム試合観戦者数	地域密着型トップスポート4チームのホームゲームにおける観戦者数	人	142,100	133,800	94.2	過去3ヶ年（24年度～26年度）の実績（前年比）の平均値を基に、算出している。観客数全体の約60%を占めるカマタマーレ讃岐は前年比微増、また約20%を占める香川ファイアアローズは前年対比125%となったものの、総体的には目標値に対し、94%に留まる結果となった	B	B	B	A	B	C	B	B	圏域内の児童生徒等に、高松市内を拠点に活動している地域密着型トップスポートチームの試合観戦の機会を提供するため、チーム等との連絡調整及び取りまとめ事務を行った。	【さぬき市】地域密着型トップスポートチームを利用したさぬき市向けのイベントを行っているが、他市町と連携して行ったイベントは、そのうちの一部だけであり、それも限られた市町のみで行っているため、広域連携しているとは、言えない。 【東かがわ市】観戦のみで参加者が少なく、今後圏域内の連携を充実する必要がある。 【土庄町】バスケットボールチームの高松ファイアアローズの公式戦を町内で開催した。 【小豆島町】12月に土庄町が主催でファイアアローズのホームタウンゲームを行われ、小豆島町の小中学生が参加した。小豆島町として、具体的な成果が把握できていない為、評価できない。 【三木町】無料でスケート教室なので大変好評であった 【直島町】プロスポーツ選手の試合観戦及び指導を受けることができる数少ない機会なので、積極的に活用している。 【綾川町】トップスポート選手を活用した事業は行ったが、町独自でホームタウンデー等の直接的に観戦客を増やす事業が行えなかった。 今後、広域として圏域が一体となった事業を行うことが望ましい。
(オ) 地域振興	46	グリーン・ツーリズム等農業振興事業	グリーン・ツーリズム実践団体来場者数（協議会会員のみ）	農業体験等のグリーン・ツーリズムを推進し、都市住民との交流促進及び農業所得の向上を図る。	千人	175	178	101.7	○H28年度の目標設定方法：過去の実績を基に目標値を設定している。 ○目標値に対する実績の理由：実践団体も増加しており、目標以上の実績となった。	A				C	A	B	グリーン・ツーリズムをPRし、農業体験等を通じた圏域住民との交流促進を図った。	【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】年々動員数が増え、実施にあたり、目標としていた「食」を通じた交流、オリーブに親しむ機会の創出や情報のPRに成功しているといえるため。 【三木町】県とともにパンフレットを通してグリーン・ツーリズムの推進、情報発信をさらに行うとともに、高松市と近隣市町との連携強化が必要である。	
	47	獣害対策事業	二ホンザル被害の軽減（面積）	高松市鳥獣被害防止計画に基づき、二ホンザルの農作物への被害面積	ha	2.12	1.46	131.1	ザルの個体数を減らすことで、農作物被害の減少を図る。効果歴なわなの設置と集落による被害防止活動への支援を行い、一定の効果が得られた。	A						B	ザルの出没情報を共有し、出没頻度の高い地域に集中的にわなを設置した。これによりザルを13頭捕獲した。また、集落でザルを追払いができるよう講習会を開催し、実戦訓練を行った。	【三木町】二ホンザルの捕獲檻の設置により個体数の減少が図られたわけではないが、農作物被害面積は減少したため、今後も引き続き取り組む必要のある取組みであると考ええる。	
	48	産学官連携推進事業【再掲】	(再掲事業)																
	49	生涯学習推進事業	生涯学習コーディネーター養成講座参加人数	本市がほぼ毎月開催している生涯学習コーディネーター養成講座への年間参加延べ人数	人	478	417	87.2	H29年度目標：各コミュニティセンターから460人土庄町、小豆島町各1人×9回出席＝18人 各コミュニティセンター、連携町からの参加者数が少なかったため目標に達しなかった。	B						C	C	生涯学習コーディネーター養成講座を、年間10回実施し、5月からの9回について連携町である2町に対し参加を依頼したが、参加者は0名だった。 また、生涯学習センターで実施している講座を掲載している「まなびかんづめ」を連携町に送付し、連携町での周知等を依頼した。	【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】イベント告知のみで、具体的な成果が把握できていないため、評価できない。

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン取組事業の評価等について（平成29年度実施事業）

参考

連携協約項目	頁	事業（取組）名	KPI（成果目標）							連携市町評価						H29年度高松市取組実績	連携市町の評価の理由		
			KPI	KPI説明	単位	29年度目標	29年度実績	達成率	H29年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町	綾川町
		50	男女共同参画センター学習研修事業	学習研修事業参加者数	学習研修事業に参加することによって、男女共同参画に関する意識が啓発される可能性が高いため。	人	3,850	3,496	90.8	過去の実績から目標を設定しており、平成29年度においては、目標に達することはできなかったが、平成28年度実績を上回ることができた。	B		B	B				男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、各種セミナー・講座を実施した。 ・学習研修事業（全64回） ・男女が共に活躍できる社会づくり講座（5回） ・参画センター出前セミナー（9回）など	【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】具体的な成果が把握できていないので評価できない。 【綾川町】高松市と協議して、連携を進めていく。
	(カ) 災害対策	51	災害時相互応援協定	-	-	-	-	-	-	-	A	A	A	A	A	A	A	圏域市町に大規模な災害が発生していないため、実績はないが、平常時から連携を図り、発生時に的確に対応できるよう備えた。	【さぬき市】災害時等における相互応援協定であり、事業が発生していないことから実績なしとしている。取組み自体は必要なものと考えられる。 【東かがわ市】県内全ての市町と応援協定を締結済みであり、相互応援協定の必要性を考える必要がある 【土庄町】体制は確保されているが、実際に災害が発生した際、各連携市町において相互応援が素早く行えるようにしておく必要がある。 【小豆島町】体制は確保されているが、実際に災害が発生した際、各連携市町において相互応援が素早く伝わるようにしておく必要がある。 【三木町】大規模災害時に備え、圏域市町間で応援体制を築くことにより、効率的かつ効果的に物資・労力等の受入・提供が可能となった。 【直島町】協定の継続は不可欠であり、継続は達成された。 【綾川町】協定が締結できていないが、応援協定が締結できれば妥当性、有効性とも評価できる。
		52	香川県消防相互応援協定	-	-	-	-	-	-	-	A	A	A	A	A	A	A	消防相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 実績なし。	【さぬき市】災害時等における相互応援協定であり、事業が発生していないことから実績なしとしている。取組み自体は必要なものと考えられる。 【東かがわ市】県内全ての市町と応援協定を締結済みであり、相互応援協定の必要性を考える必要がある 【土庄町】体制は確保されているが、実際に災害が発生した際、各連携市町において相互応援が素早く行えるようにしておく必要がある。 【小豆島町】体制は確保されているが、実際に災害が発生した際、各連携市町において相互応援が素早く伝わるようにしておく必要がある。 【三木町】応援要請の方法や、応援隊派遣体制などが明記されたことにより、県内市町及び一部事務組合の相互応援体制に寄与した。 【直島町】協定の継続は不可欠であり、継続は達成された。 【綾川町】大規模災害等発生時には妥当性、有効性とも評価できる
		53	高松空港及びその周辺における消防救難活動に関する協定	-	-	-	-	-	-	-	A				A		A	消火救難活動体制を維持し、緊急対応に備えた。 実績なし	【三木町】関係市町の消防機関が協定に基づき合同訓練を実施することにより、消火救難活動の強化に寄与した。 【綾川町】高松空港や圏域における航空機災害発生時には妥当性、有効性とも評価できる
		54	消防業務の事務委託	-	-	-	-	-	-	-	A				A		A	受託町における消防行政を円滑に実施するとともに、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進した。 建物火災：11件（平成29年暦年）	【三木町】消防・救急活動の円滑化、迅速化に貢献し、地域防災に寄与した。 【綾川町】三木町・綾川町・高松市消防業務の医務委託に関する規約に基づき、事業が実施できている。
		55	地域防災対策事業	圏域市町との防災行政無線等を活用した通信訓練を行う連携市町数	災害時の通信方法の確認のため、防災行政無線等を活用した通信訓練を行い、相互の応援要請や被害状況等の把握を行う。	自治体	2	1	50	目標設定方法：圏域7市町と、災害時の通信方法の確認するため、計画的に対応自治体数を1自治体増やす。 実績の理由：自治体数を増やすことは出来なかったが、直島町と相互の被害状況等の把握のために通信訓練を実施した。	A						B	直島町と防災行政無線を活用して、相互の被害状況等の把握するための通信訓練を実施し、操作方法等を確認することができた。	【直島町】圏域住民のために必要であるが、十分な成果はあがっていない。

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン取組事業の評価等について（平成29年度実施事業）

参考

連携協約項目	頁	事業（取組）名	KPI（成果目標）						連携市町評価						H29年度高松市取組実績	連携市町の評価の理由			
			KPI	KPI説明	単位	29年度目標	29年度実績	達成率	H29年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町			三木町	直島町	綾川町
(+) 環境	56	一般廃棄物の処理・処分に関する業務	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	綾川町から委託を受け、西部クリーンセンターにおいて、綾川町の区域から排出される一般廃棄物4,969 t（し尿及び浄化槽汚泥を除く。）の中間処理（焼却、破砕）を行った。また、高松市国分寺地区から排出される一般廃棄物を中間処理した後に生じる残さの埋立処分に関する業務を綾川町に委託し、焼却灰2,161 tを綾川町西分処分場へ搬出した。	【綾川町】綾川町一般廃棄物処理基本計画に基づいて処理を行っており妥当性、有効性ともに問題はない。	
	57	し尿処理に関する業務	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	三木町・綾川町から排出された、し尿及び浄化槽汚泥の処理を行った。また、本市と綾川町が共有している国分寺町し尿貯留槽の管理を綾川町に委託した。 処理実績 65,143kl (内訳) し尿 浄化槽汚泥 計 三木町 2,461kl 6,048kl 8,509kl 綾川町 1,447kl 3,906kl 5,353kl 高松市 12,339kl 38,942kl 51,281kl 計 16,247kl 48,896kl 65,143kl	【三木町】事業に係る体制も整備されており、十分な成果があると考えられる。 【綾川町】十分な成果があると考えられる。	
	58	環境学習等推進事業	環境学習講座参加者数	環境学習講座（環境ワークショップ）、出前講座及び自然観察体験事業の参加者数の合計	人	2,220	1,707	76.9	環境保全推進課分室の閉所により環境学習講座実施回数は減少したが、こども未来館や瓦町F.L.A.Gなどの新たな施設における講座においても圏内からの参加があった。	B	C	B	C	B	C	B	環境学習講座の参加応募条件を「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内に在住、又は通勤・通学する方法として、広報誌やホームページで参加者を募った。	【さぬき市】取組実績がないため、高松市や他の先進地と取組状況や成果について情報連携を図る必要がある。 【東かがわ市】ごみの減量化の出前講座や緑のカーテンの広報を行ったが、圏域内の連携には至っていない。 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】実績なしのため 【三木町】取り組みがないため評価なし。 【直島町】自然探検は目標どおり達成でき、一定の成果があった。定員制ということもあり、参加者の大半を町内児童がしめたため、中心市での周知・啓発による圏域内の児童の参加についてはわずかととなった。 【綾川町】実績がない。	
	59	環境負荷の少ない自動車の普及促進	市内における電気自動車保有台数	環境に負荷の少ない電気自動車を多くの市民に周知することにより、自動車の新規購入や買換えの際における電気自動車購入の意識付けを行う。また、市が設置した急速充電器の運営を行うとともに、市内の充電設備の情報提供を行うことなどにより、電気自動車の普及を図る。	台	392	318	81.1	過去の電気自動車保有台数（実績）の平均増加率と同程度の増加率が今後も継続するものとして目標値を算出 達成率は目標値の81%で、保有台数増加率は全国的にも伸び悩み傾向にあるが、保有台数は毎年着実に増加している。	B	C	B	C	C	C	B	公用車に電気自動車を1台導入し（全12台）、車体をラッピングして市内を走らせ、走行実績に伴う温室効果ガス削減等の情報をホームページで発信した（ホームページ更新12回）。また、市が設置した市内3か所にある道の駅の急速充電器の情報発信や、環境展及びたかまつCOOL CHOICEキャンペーン普及啓発パネル展でのパネル展示を行い、電気自動車の普及を図った。	【さぬき市】取組実績がないため、高松市や他の先進地と取組状況や成果について情報連携を図る必要がある。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】環境負荷の少ない自動車が少しずつ増えてきているが、もっと住民意識を高め、環境負荷軽減につなげていく必要がある。 【小豆島町】圏域内の情報交換が行われた 【三木町】取り組みがないため評価なし。 【直島町】なおしま環境フェスタ2017での展示が行えず、普及促進活動の取り組みに至っていない。 【綾川町】実績がない。	
	60	小型家電等リサイクル推進事業	年間回収量	市が実施するボックス回収・ピックアップ回収・イベント回収により回収された使用済小型家電の総量	トン	17	13	75.7	市民への周知・啓発活動を行い、使用済小型家電の回収量増加と循環型社会の意識の啓発につなげる。 回収目標については、H35年度の目標を8トン（市民一人当たり約20g）と設定し、その途中段階であるH29年度の目標は6トン（市民一人当たり約15g）と設定している。 H29年度は市民への周知・啓発活動に努めたことにより回収量が増加した。	C	B	B	C	C	B	A	・市内22か所でのボックス回収、ピックアップ回収、イベント時の回収を実施した。 ・「小型家電等リサイクル推進事業担当課長会」を開催し、事業結果の検証と今後の取り組みを報告した。 ・H29年度より都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクトに参加し、スポーツイベント等でのイベント回収を実施した。	【さぬき市】回収量が前年より下回った。小型家電等リサイクルに対する市民の認知度をさらに向上させる必要がある。 【東かがわ市】担当者会議で情報交換しているが、自治体ごとの買値が違うため、相互連携には至っていない。 【土庄町】少しずつ回収量が増えているが、さらなる回収量の増加が必要である。 【小豆島町】圏域内の情報交換が行われた 【三木町】回収は増えつつあり、認知率は向上していると思われる。 【直島町】町内の小型家電は全てクリーンセンターへ持ち込まれ、そこでピックアップ回収しているため。 【綾川町】小型家電のリサイクルに役立っている。	
	61	不法投棄対策事業の推進	不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦参加者数	各市町が連携して地域住民及びボランティア参加のクリーン作戦を実施することで、地域の環境美化と不法投棄撲滅に対する意識啓発を図る。	人	7,000	5,520	78.9	毎年行っている7か所のクリーン作戦を目標値として設置。今年度の実績は、屋島クリーン大作戦において清掃箇所の一部が台風により通行止めとなったことやイノシシ対策として地元のボランティアの人数を意図的に減らしたため、参加者が減少した。	B	B	A	B	A	B	A	毎年行っている7か所のクリーン作戦を予定通り実施した。	【さぬき市】参加者数は前年並みである。毎年ある程度の不法投棄の報告があるので、不法投棄件数を減少させていくために、さらなる環境美化への意識啓発を行う必要がある。 【東かがわ市】本市独自の活動となっており、相互連携には至っていない。 【土庄町】継続して清掃活動できている点は評価できる。しかしながら、依然として不法投棄はあるため、今後も継続して事業を行う必要がある。 【小豆島町】圏域内の情報交換が行われた 【三木町】「高松・三木出合いふれあいクリーン作戦」については、一定の参加者もあって定着しており、開催場所を何年か毎に変更しながら、不法投棄防止を周知していく。 【直島町】7/15に町内一斉清掃「ごみ0クリーンデー」を実施できた。 また、重点海岸についても漂着物の回収を実施できた。 【綾川町】環境美化と不法投棄撲滅の意識啓発に役立っている。	

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン取組事業の評価等について（平成29年度実施事業）

参考

連携協約項目	頁	事業（取組）名	KPI（成果目標）							連携市町評価						H29年度高松市取組実績	連携市町の評価の理由	
			KPI	KPI説明	単位	29年度目標	29年度実績	達成率	H29年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町
イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	(ア) 地域公共交通	62	ICカードを利用した公共交通利用促進事業【再掲】	(再掲事業)														
		63	コンビニ等へのIruCa導入事業	コンビニ等へのIruCa導入事業に参加した自治体数	取組の目的は、ICカード「IruCa」による各種割引サービスの適用を受けることができるよう、コンビニにシステムを導入し、利便性の向上を図るものであり、施策の参加自治体数を増やす。	自治体	1	1	100	29年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の有効性を共有し、事業を拡大する。毎年1自治体追加することを目標として設定した。	A	B	C	A	B	B	29年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の有効性を共有することにより、事業の拡大に努めた。9月から綾川町において、ゴールドIruCaを活用した高齢者公共交通運賃支援が開始された。	【さぬき市】取組自体の妥当性や有効性はあると思われるが、実施していないため。 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】ことでの乗り継ぎ等に係る割引サービスシステムの導入については、費用負担に部分等で課題があるため。 【三木町】取組がないため評価なし。 【綾川町】事業実施に向けて十分協議ができています。
		65	橋りょう改築修繕事業						道路メンテナンス会議を通して、点検状況の報告を行い、圏域全体での情報共有を図れた。	B	A	A	A	C	B	C	橋りょう長寿命化修繕計画について、香川県内の道路管理者等で構成される「道路メンテナンス会議」を通して点検状況の報告を行い、圏域全体での情報共有を図った。	【さぬき市】取組実績がないため 【東かがわ市】橋りょう長寿命化修繕計画に基づき計画的な維持管理ができていますが、圏域の連携には至っていない。 【土庄町】今後、案件があれば高松市と協議等を行い、情報共有等連携を図っていくため。 【小豆島町】実績なしのため 【三木町】高松市境には、町道橋がなく、町道橋以外の市町境の橋については不明。 さぬき市境には、3橋町道橋があり、点検等の費用の一部を負担することなどで、事業の連携を図っている。29年度は実績なし。 【直島町】具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】行政区域界における橋梁修繕については、情報共有等が重要であると考えため
		66	道路新設改良事業						行政区域界について、事業の必要が生じなかった	B	A	A	B	B	行政区域界での生活道路（市道）の新設改良工事について、該当がなかった。	【さぬき市】取組実績がないため 【土庄町】今後、案件があれば高松市と協議等を行い、情報共有等連携を図っていくため。 【三木町】高松市内の道路の新設改良事業の情報提供は特になし。また、行政区間の事業も特になし。 【綾川町】行政区域界における道路拡幅事業については、情報共有等が重要であると考えため		
		67	ブランド農産物育成支援事業【再掲】	(再掲事業)														
(イ) 地域内外の住民との交流・移住促進	(ウ) 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	68	自然体験等を通じた住民の交流の促進	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ポータルサイトへのアクセス数	イベント情報を掲載する瀬戸・高松広域連携中枢都市圏のホームページのアクセス数	件	0	2,178		H29年度実績（訪問者数）をベースに、圏域人口（ビジョン目標）の1%を最終年度の目標とし、暫増を目標とする。	A	B	B	C	B	B	H28年度に構築した、ポータルサイトについて、適切な保守・管理を行いながら、都市圏ビジョンに基づく取組や本市及び連携市町の魅力を、適宜、発信した。	【さぬき市】雨滝自然科学館において夏休み期間に企画展や親子教室を実施し、県内の小・中学校にチラシを配布して周知している。 【東かがわ市】市内団体の独自の取組を支援しているが、圏域内での連携が十分ではなかった 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】自然体験を通じてその土地の文化等も学ぶことができ、交流できるため。 【三木町】取り組みがないため評価なし。 【綾川町】瀬戸・高松広域連携中枢都市圏への情報提供が十分にできていない。
		69	移住・交流促進事業	圏域市町全体での社会増減	移住促進策の実施に伴う、圏域全体での社会増減数	人	859	623	72.5	過去の実績等を踏まえて目標を設定。県とも連携しながら、圏域の魅力発信や家賃補助事業など、種々、取り組みを行ったが、圏域内の半数を超える市町で社会減となる結果となり、目標を達成することができなかった。	B	B	B	B	A	B	C	前年度に引き続き、香川県の補助金を活用して、各市町で移住者を対象とする民間賃貸住宅家賃等の補助事業を実施するとともに、圏域独自の取組について、継続して担当者間での協議を行った。

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン取組事業の評価等について（平成29年度実施事業）

参考

連携協約項目	頁	事業（取組）名	KPI（成果目標）							連携市町評価						H29年度高松市取組実績	連携市町の評価の理由		
			KPI	KPI説明	単位	29年度目標	29年度実績	達成率	H29年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町	綾川町
ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	70	人材育成事業、合同研修等の実施	合同研修の開催回数	合同研修の機会を増やし、圏域自治体職員の能力向上及び市町域をまたいだ交流や連携を図るため。	回	5	4	80.0	人材の育成・交流及び圏域のマネジメント能力の向上を図ることができる研修を合同で実施する。H29年度については、業務改善能力向上研修の合同研修を見送ったことに伴い、目標値を下回った。	B	B	A	B	A	A	B	A	実践的政策形成能力を高めるための研修を始め、行政環境の変化に対応できる幅広い視野を養うための教養講演会を合同で実施し、圏域内市町職員の能力・資質の向上を図った。 【開催回数】・政策形成能力向上研修 1回 ・OJT研修 1回 ・政策評価能力向上研修 1回 ・教養講演会 1回	【さぬき市】各研修に2～4日程度要し、参加者の負担もあり、全ての研修には参加できていない。今後も研修への参加について周知する必要がある。 【東かがわ市】職員の能力、意識向上や交流のきっかけとなった。また、合同研修により、他自治体職員と交流できる機会となった。 【土庄町】職員の能力・意識向上が図れ、交流のきっかけにもなった。 【小豆島町】職員の能力向上につながり有意義である。受講生の感想も好評である。 【三木町】他市町職員との交流を深め、職員のマネジメント能力の向上につながっている。 【直島町】具体的な内容に触れることができ、参考になったため。 【綾川町】職員の能力・意識向上が図れ、交流のきっかけにもなった。
	71	地域コミュニティ人材養成事業	講演会・講習会の参加者数	地域のリーダー養成を目的として実施している人材養成事業の参加者が増加することで、地域コミュニティの自立と活性化が図られる。	人	350	380	108.6	前年度と事業形態に変更がないため、前年度目標値及び実績を基に設定。各地域での取りまとめを行っているコミュニティ協議会に対し、機会を捉えて講演内容等の周知を行い、参加意欲を喚起した。	B	B	B	C	B	B	B	B	平成29年度高松市地域コミュニティ人材養成事業 (1)日時 平成30年2月17日（土） (2)場所 高松テルサ（510人収容可能） (3)講師 高崎経済大学 教授 櫻井常矢 (4)参加者380名（うち圏域市町参加者2名）	【さぬき市】開催回数については、前年と同様であるが、出席者数については、前年を下回った。開催曜日、時間等検討を要する。 【東かがわ市】地域コミュニティ活動の人材育成につながった 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】取り組み実績なし 【三木町】先進地事例等の報告により、地域コミュニティ活動等に関する方の意識を高められる点において一定の評価ができる。 【直島町】具体的な内容に触れることができ、参考になったため。 【綾川町】事業を十分に活用できていないが人材養成の観点から有効であると考え。

**瀬戸・高松広域連携中枢都市圏
ビジョン懇談会への報告書**

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏域若者会議

平成 30 年 8 月

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会への報告について

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏域若者会議は、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏域全体の経済のけん引に資する事業の検討にあたり、圏域内に住所を有する若者の意見を聴取するため、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会設置要綱第8条に規定する部会として設置されました。

会議では、圏域全体の経済のけん引に資する事業の検討を始め、既存のビジョン掲載事業や圏域での連携に関する議論を行い、意見を取りまとめたので、ここに報告いたします。

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会においては、今後の圏域の活性化を図るため、本報告の趣旨を御理解いただき、懇談会での議論の参考としていただきたいと思います。

平成30年8月

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏域若者会議

部会長 松岡 久美
副部会長 桑村 美奈子

永富 太一	西川 宗久	瑞田 信仁	眞鍋 安徳
田中 祐	六車 亜弥	三谷 公二郎	中川 貴裕
寺下 真弓	平井 雅敏	圓藤 曜一	福西 礼

報告事項

1 圏域全体の経済のけん引に資する事業の検討

- (1) 事業継承（M&A）マッチング事業連携強化事業 1
- (2) 圏域データプラットフォーム構築事業 2
- (3) 子育て世代の生活・活動周辺支援事業 3

2 既存のビジョン掲載事業に関する意見

- (1) ブランド農産物育成支援事業 4
- (2) 誘客促進事業観光連携協議会の設置・運営、海外誘客促進事業 5
- (3) 移住・交流促進事業 6

3 圏域での連携に関する意見

- (1) 圏域が目指すテーマ及びターゲットの設定 7
- (2) 幅広い層が集まる「場」づくり 8

1 圏域全体の経済のけん引に資する事業の検討

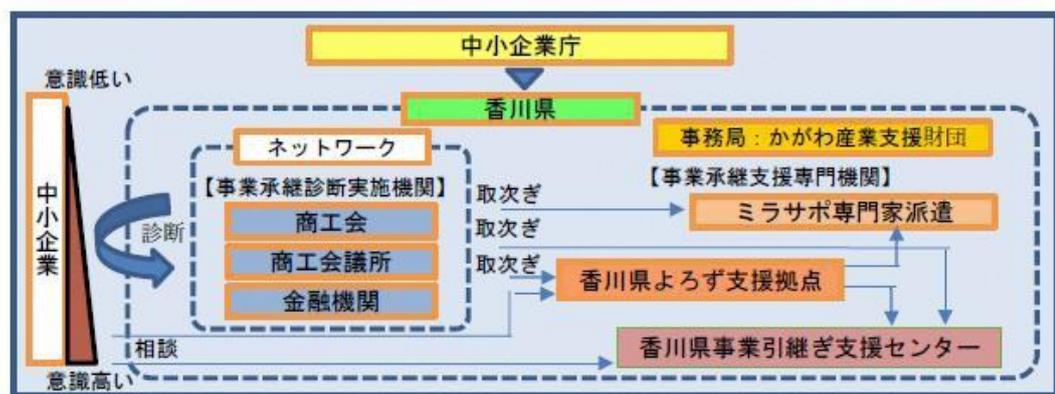
(1) 事業承継 (M&A) マッチング事業連携強化支援事業

現在、事業承継については、各市町の商工会などの機関が事業承継診断を実施していますが、診断できる範囲が各機関の規模や所管に限られるため、事業譲渡希望者及び事業引継希望者双方の固定化が起きています。

そこで、本会議では圏域内の各機関が連携^[1]して、圏域の事業承継に関するデータベースの構築などの情報の一元化及び業界別、分野別に小規模で連携市町各地できめ細やかに行う事業承継マッチング事業の実施支援を提案いたします。

- [1] 中小企業庁では、平成 29 年度から都道府県単位で商工会・商工会議所、金融機関等の身近な支援機関から構成される「事業承継ネットワーク」の構築に取り組んでおり、事業承継ネットワーク地域事務局を担う事業者として、(公財)かがわ産業支援財団を含む全国 19 事業者が採択されています。

(香川県事業承継ネットワーク事務局の事業スキーム (体制図))



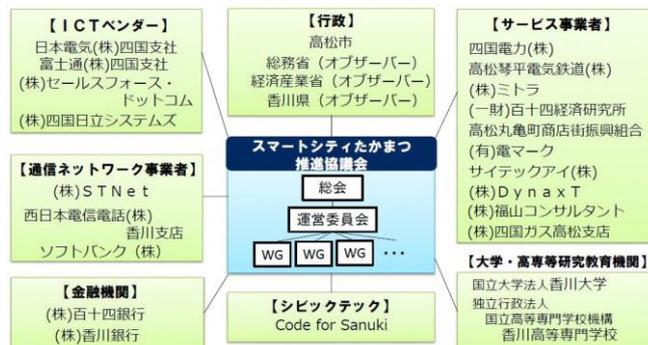
1 圏域全体の経済のけん引に資する事業の検討

(2) 圏域データプラットフォーム構築事業

圏域全体の経済のけん引を戦略的に行うために、RESAS やビッグデータを圏域で連携して収集・分析するプラットフォームを構築し、圏域経済全体のけん引に関する課題分析・新たなビジネスへの活用につなげることが重要であると考えます。[2]



[2] 現在、高松市では、「オープンデータ高松」を整備しているほか、産学民官が連携して設立された「スマートシティたかまつ推進協議会」によって、共通プラットフォームを活用した官民データの収集・分析による地域課題の解決が取り組まれています。



1 圏域全体の経済のけん引に資する事業の検討

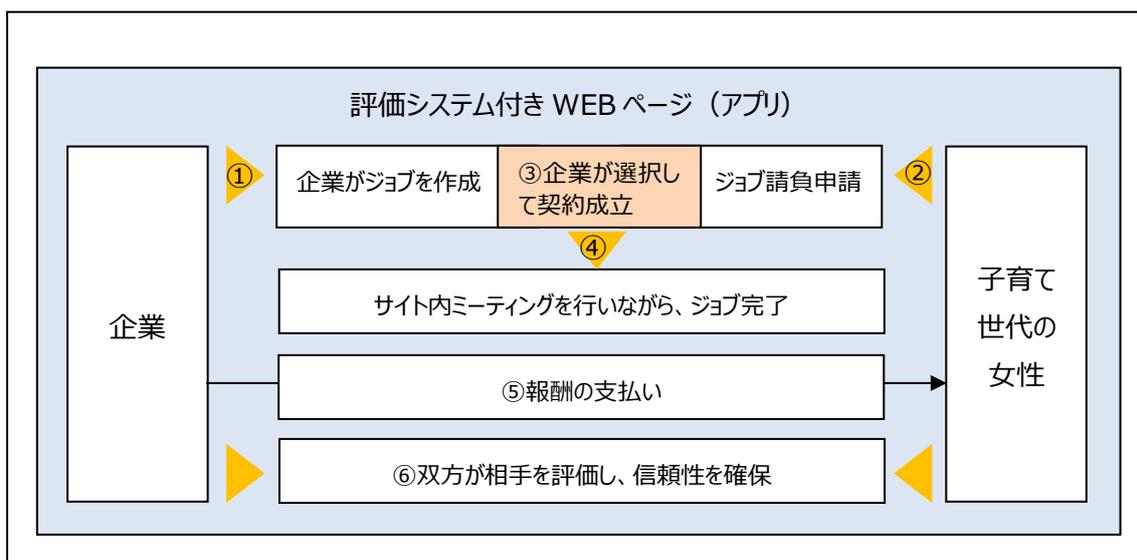
(3) 子育て世代の生活・経済活動周辺支援事業

人口減少社会において、将来の圏域での経済活動の活性化を促していくためには、子育てと仕事の両立を希望する、子育て世代への支援が重要であります。

保育所整備などの直接的な支援の取組は各市町でも行われていますが、今後は、子育て世代の生活や経済活動の周辺環境への支援について、圏域として、取り組みが可能ではないかと考えます。

経済活動支援事業の一例として、出産・育児を機に仕事から離れる子育て世代に向けて、子育てをしながら不安なく経済活動（就業など）を行うことを支援する事業として、圏域が抱える課題（①地場産業の人材不足、②女性の社会進出、③移住希望者の生活設計）解決のために、以下に示すような子育て世代女性専用の評価システム付きフリーランス事業が、若者会議委員の意見として提案されており、こうした新しい事業を開始していくための支援も一つの手法であると考えます。

(例 子育て世代女性専用の評価システム付きフリーランス事業 概要)



2 既存のビジョン掲載事業に関する意見

(1) ブランド農産物育成支援事業

現在、上記事業では「たかまつ食と農のフェスタ」において圏域内生産者の出展や、パンフレットの配布・作成などを通じて特産農産物のPRを行っています。生産者の特産農産物に対する思いを伝えたり、収益の向上には至っていません。



今後、ブランド農産物育成を支援するにあたり、生産者の思いや特産農産物に係る背景・環境などの情報を一元的かつ効果的に発信する手法の導入によって、圏域の一体感の醸成を図るとともに、切れ目のない特産農産物の情報発信を強化する必要があると考えます。

(たかまつ食と農のフェスタ (たかまつ産ごじまん品ひろばホームページ内記事))

◆瀬戸・高松広域連携中枢都市圏コーナー

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏を形成する近隣の市町から生産者が出展し、圏域の地産地消の推進と特産品の知名度向上を目指します！

出展団体	出展内容 (※変更する場合があります。)
育農クラブ(綾川町)	花苗、寄せ鉢、野菜、イチゴ など
飯田農園(さぬき市)	桃アイス、桃ソーダ、ホットもも、瓶詰ピューレ など
さぬきワイナリー(さぬき市)	果実酒、甘味果実酒、清涼飲料水 など
ひまわり生活研究グループ(さぬき市)	カンカン寿司、たきこみご飯、みそ など
森のジェラテリア MUCCA(三木町)	ジェラート、パン、コーヒー、カフェオレ など
小豆島とのしょう観光協会(土庄町)	オリーブオイル、オリーブラーメン、醤油 など
安田商事(小豆島町)	佃煮、オリーブ加工品 など

※売切れ次第、終了とさせていただきます。あらかじめ御了承ください。

2 既存のビジョン掲載事業に関する意見

(2) 誘客促進事業観光連携協議会の設置・運営、海外誘客促進事業

近年、香川県においては外国人観光客が増加^[3]しており、今後さらなる海外誘客促進を戦略的に進めていく必要があります。

その中で、この圏域に訪れる外国人観光客が

①どこから（国、宗教、文化、出入りの交通手段など）

②どのような目的で（現代アートを見たい、食を楽しみたい、ここでしかできないことを体験したいなど）

③どのくらいの資金をもって訪れる（富裕層、バックパッカーなど）

のかを把握し、各顧客に対応したサービスの提供や受入れ体制を充実させ、外国人観光客が真に必要な情報をスムーズかつ詳細に得ることができる環境づくりが重要になると考えます。



[3] 外国人延べ宿泊者数伸び率全国1位

（平成24年→平成29年、10.52倍、2018年版観光白書）

2 既存のビジョン掲載事業に関する意見

(3) 移住・交流促進事業

移住・交流促進事業^[4]については、圏域内各市町において独自の取組が実施されているところであり、今後、さらに圏域内への移住を促進するためにも、圏域内に移住した人たちが、それぞれの地域や圏域全体の暮らしやすさを実感しながら、安心した生活を送れるよう、土庄町や小豆島町で実施されている「お試し移住」事業など、各種取組に関するより一層の情報発信の強化と圏域内での連携が求められると考えます。

高松市移住ナビ 四国 香川県

ええとこ! さぬき市

東かがわ市 HIGASHIKAGAWA CITY

小豆島で暮らしませんか
空き家バンク利用のご案内

NAOSHIMA COLORS
直島をもっとカラフルに... [直島カラーズ]
直島で暮らす。 直島で働く。 直島を体験。 直島日記。

香川県三木町 魅力発信サイト
KIT*MIKI

[4] 本年6月30日に東京・渋谷に「瀬戸・たかまつ移住&キャリアサポートセンター」が開設されています。

香川で見つける仕事と暮らし / in 渋谷

瀬戸・たかまつ 移住&キャリアサポートセンター

移住・就職・転職に関するサポートを行っています

見つけよう! 私らしい仕事。

就職セミナー開催予定!

たかまつエリアへの 移住 転職 転職 なら、瀬戸・たかまつ移住&キャリアサポートセンターにおまかせ!

個別相談無料

詳しくはこちら → <https://www.seto-shoko.net/580cc/>
最新情報はSNSをチェック!

受付時間: 火曜-土曜 10:00-19:00

3 圏域での連携に関する意見

(1) 圏域が重点とするテーマ及びターゲットの設定

本圏域では、都市圏ビジョンにおいて目指すべき将来像「輝きと活力にあふれ 島、街、里が織りなす創造性豊かな交流圏域」を掲げています。

本会議では、その設置目的である「圏域全体の経済成長のけん引」に関する事業の検討を中心に議論を行ってきましたが、分野に存在するテーマやターゲットは多岐にわたり、十分には議論が深まりませんでした。

今後、どのテーマやターゲットを対象に事業を検討すべきか、圏域全体で取り組むべきテーマやターゲットを設定した上で、各分野における連携事業の充実・強化を図ることが必要と考えます。その上で、重点とするテーマやターゲットを設定していただき、「若者」の視点で、より実効性のある事業の検討を行いたいと考えます。

なお、本会議の構成要件である「若者」の視点からは、次のようなテーマも議論されました。

- 子育て世代が日本で一番暮らしやすいと感じる圏域
- 地域を支える大人と圏域の将来を担うこども達をつなぐ「コト」
- 圏域情報やイベントの「見える化」
- 事業を推進する情報通や専門家の「見える化」
- 地元の魅力を地元の人以上に感じている外国人観光客の視点
- より若い世代（10代、大学生、20代前半など）の視点

(2) 幅広い層が集まる「場」づくり

本圏域が今後さまざまな事業を連携して実施するときに必要なものとして、やはり多くの人がこの圏域に愛着や興味を持ち、できること、してみたいことを自ら考えることが重要であり、そのためには、幅広い層がそれぞれのテーマを持って集まり、語り、つながることのできる「場」づくりが必要だと考えます。

例えば、高校生などを含めた幅広い世代が、共通の趣味（部活動経験など）や興味のある分野を持つグループとして集まり、語り、つながることができれば、若い世代の参加者には圏域で体験した「コト」の記憶や人的つながりが蓄積されることにより、将来、この圏域に帰ってきたいという意識を高める一助となるのではないかと考えます。

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏における取組事業の 新規・拡充等について(平成31年度以降実施分)

連携事業数

連携分野	事業数	平成31年度の新規・拡充当事業名
圏域全体の経済成長のけん引	13→14	(新規) 幅広い層が集まる「場」づくり
高次の都市機能の集積・強化	6 →6	(新規) データ利活用型スマートシティ推進事業 (統合) 新病院整備事業
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	52→52	(新規) がん検診の広域化 (新規) データ利活用型スマートシティ推進事業【再掲】 (拡充) 地域包括支援センター運営事業 (統合) 認知症ケア推進事業 (統合) 地域ケア会議推進事業 (拡充) 自然体験等を通じた住民の交流の促進

連携事業数： 平成30年度 71事業 → 平成31年度 **72**事業 (+1)

統合する事業

<ul style="list-style-type: none"> ■ 新病院整備事業 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高松市立病院運営事業 	<p>本事業は、平成30年度に整備が完了したため。以降の高松市立みんなの病院に関する取組は、「高松市立病院運営事業」に読み替えの上、統合する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域包括支援センター運営事業 ■ 認知症ケア推進事業 ■ 地域ケア会議推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域包括支援センター運営事業 	<p>地域包括支援センター運営事業を含めた3つの取組を集約して連携することにより、効率化が図られ、様々な課題を一体的に捉えることとするため。</p> <p>実施事業内で連携する医療機関や介護事業者等が重複していることから、圏域内で実施している会議や研修会において参加・協力等の連携ができるほか、連携市町を含めた情報提供を行うことにより、広域的な参加が見込める。</p>

①幅広い層が集まる「場」づくり事業（新規）

●：新規
◎：拡充

連携協約項目	1 圏域全体の経済成長のけん引 ア 産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等、国の成長戦略実施のための体制整備						
連携する市町	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町	綾川町
	●	●	●	●	●	●	●
事業概要	多くの人が圏域に愛着や興味を持ち、できること、してみたいことを自ら考えることが地域経済の活性化につながることから、幅広い層が集まり、意見を出し合うことができる「場」づくりを推進する。						
連携して得られる成果	圏域内の幅広い層の住民間でのネットワークづくりや情報共有が促進されることにより、住民が主体となった圏域全体の活性化につながる。						
役割分担 及び 費用負担 の 考え方	高松市	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い層が集まる「場」の設置・運営等を行う。 実施内容に応じて、協議により、費用負担を決定する。 					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> 会議の設置・運営等に関し、必要な協力を行う。 実施内容に応じて、協議により、費用負担を決定する。 					
成果指標 (K P I)	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ポータルサイトへのアクセス数(件) H29 : 2,178 → H35 : 5,700						



幅広い層が集まる「場」のイメージ

② データ利活用型スマートシティ推進事業（新規）

●：新規
◎：拡充

連携協約項目	2 高次の都市機能の集積・強化 エ その他、高次の都市機能の集積・強化に係る施策 【再掲】 3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野 (オ) ICTインフラ整備				連携協約の追加が必要 (全市町)		
連携する市町	さぬき市 ●	東かがわ市 ●	土庄町 ●	小豆島町 ●	三木町 ●	直島町 ●	綾川町 ●
事業概要	データの利活用により、本市が抱える多様な地域課題の解決を図るため、産学民官の多様な主体が参画する「スマートシティたかまつ推進協議会」と連携し、IoT共通プラットフォームを活用して、様々な分野のデータの連携に向けた検討、データの収集・分析等を行う。						
連携して得られる成果	圏域の様々なデータをIoT共通プラットフォームに収集・分析することで、より一層の地域課題の解決が期待できる。						
役割分担 及 費用負担 の 考え方	高松市	<ul style="list-style-type: none"> IoT共通プラットフォームの利活用による効果の周知、円滑なサービス提供、連携市町との調整を行う。 					
成果指標 (KPI)	連携して収集・分析する地域課題の解決につながるデータ分野の数 H29:0 → H35:4						

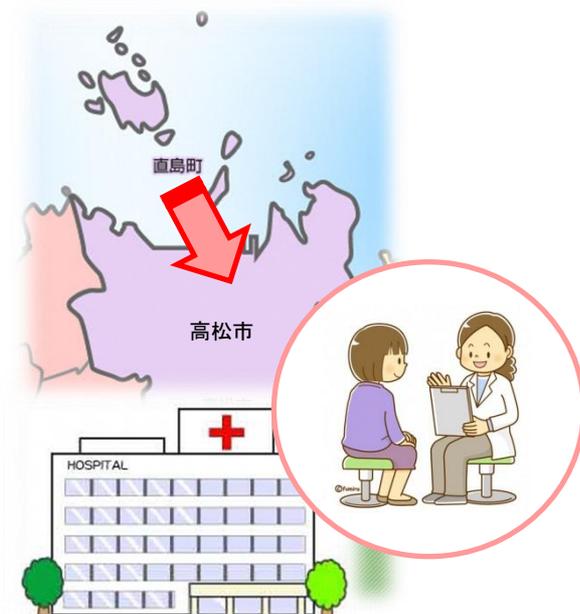


データ利活用型スマートシティ

③がん検診の広域化（新規）

●: 新規
◎: 拡充

連携協約項目		3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 ア 生活機能の強化に係る政策分野 (ア) 地域医療						
連携する市町		さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町	綾川町
							●	
事業概要		連携市町において、集団検診に加え、高松市の医療機関等での個別検診（子宮頸がん・乳がん検診）による受診を可能にする。						
連携して得られる成果		高松市の医療機関等での個別検診による受診が可能となり、受診機会の安定的な提供及び受診率の向上につながる。						
役割分担及び費用負担の考え方	高松市	<ul style="list-style-type: none"> 連携市町及び高松市医師会と、受診可能範囲等の調整を行う。 						
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> 医師会との協議、検診費用の負担、住民への周知を行う。 						
成果指標（KPI）		高松市医療機関でがん検診を希望した者のうち、検診受診につながった者の割合（%） H29：100 → H35：100						



がん検診の広域化

④ 地域包括支援センター運営事業（拡充）

●：新規
○：拡充

連携協約項目	3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 ア 生活機能の強化に係る政策分野 (イ) 介護						
連携する市町	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町	綾川町
	●	●	○	○	○	●	○
事業概要	地域包括支援センターの運営に関する取組について、圏域内の市町において情報交換会等を開催し、ノウハウの共有や連携して解決すべき課題の検討等を行う。						
連携して得られる成果	互いの事業内容について、詳細な部分まで把握でき、それらを参考にすることで、 圏域全体で安定した水準の事業実施が図られる。						
役割分担及び費用負担の考え方	高松市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報交換会を開催するとともに、高松市開催の研修会について、機会の提供を行う。 ・ 実施内容に応じて、協議により、費用負担を決定する。 					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報交換会に出席し情報交換するとともに、研修会への参加を促す。 ・ 実施内容に応じて、協議により、費用負担を決定する。 					
成果指標 (KPI)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立高齢者率 (%) H28 : 78.4 → H35 : 74.6 						

総合相談支援

さまざまな相談に対応します。

高齢者のみなさんやご家族、地域の人からの相談や悩みにお応えし、情報の提供やサービスの紹介をします。介護や健康のことだけでなく、生活全般についてもご相談ください。

お気軽に、ご相談ください。

権利擁護

尊厳のある暮らしを守ります。

高齢者の人権や財産を守るための支援をします。

- ◎高齢者への虐待防止（疑いも含む）
- ◎認知症などで財産の管理や日常生活上の不安を抱えている方への支援（成年後見制度など）
- ◎悪徳商法などの消費者被害の未然防止など

**包括的・継続的
ケアマネジメント支援**

地域の連携・協力体制を支えます。

相談内容に応じて、医療や福祉などの専門機関と連携し、協力してみなさんを支えています。適切なサービスが提供されるよう、地域の介護支援専門員（ケアマネジャー）への支援や、助言を行います。

**介護予防
ケアマネジメント**

自立した生活を支援します。

高齢者のみなさんが自立して生活できるように、生活の仕方やサービス利用などについて助言・紹介するなど、みなさんの状態にあった健康づくりや介護予防のお手伝いをします。

地域包括支援センターの主な事業

⑤ 自然体験等を通じた住民の交流の促進（拡充）

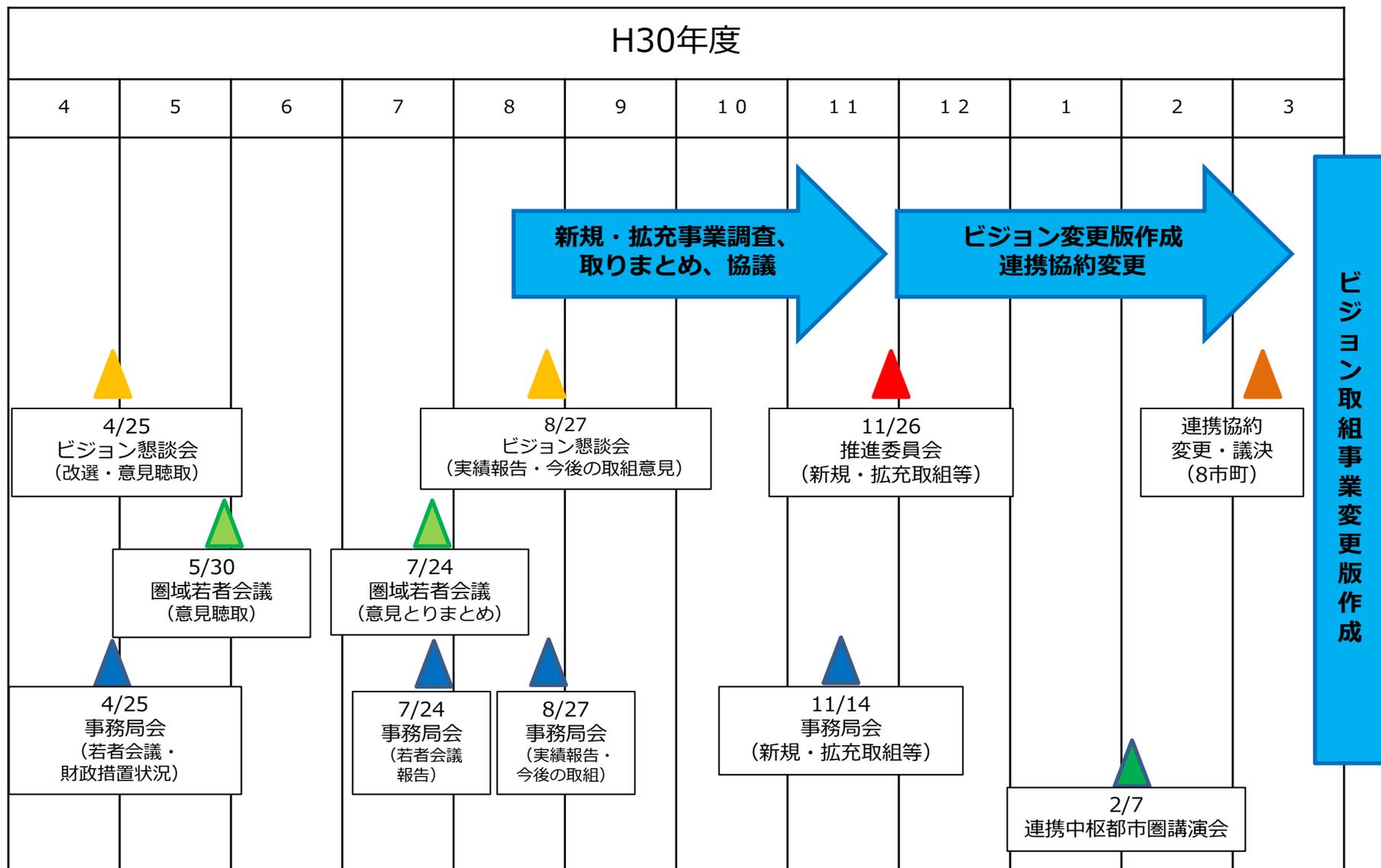
●：新規
○：拡充

連携協約項目	3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野 (工) 地域内外の住民との交流・移住促進						
連携する市町	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町	綾川町
	○	○	○	○	○	●	○
事業概要	自然体験等を盛り込んだイベントを開催、 <u>助成</u> し、圏域内の児童生徒等の参加を誘致する。						
連携して得られる成果	<u>圏域内</u> の人の流れをつくり、地域の活性化を促進するとともに、交流によって、児童生徒を始めとする住民の相互理解を深める。						
役割及び費用負担の考え方	高松市	<ul style="list-style-type: none"> 連携市町が実施するイベントについて、高松市の住民に周知・啓発を行う。 <u>高松市内における圏域内の児童生徒等が参加可能な自然体験イベント等の開催経費を助成する。</u> 実施内容に応じて、協議により、費用負担を決定する。 					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> 自然体験等を盛り込んだイベント等を開催・<u>周知</u>し、圏域内の児童生徒等の参加を促進する。 実施内容に応じて、協議により、費用負担を決定する。 					
成果指標 (KPI)	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ポータルサイトへのアクセス数 (件) H29 : 2,178 → H35 : 5,700						



住民の交流の促進イベント等

スケジュール



「スマートシティたかまつ」の 実現を目指して

平成30年11月26日
高松市

「スマートシティたかまつ」プロジェクトの推進



- 高松市は、国内で初めて、「FIWARE」によるIoT共通プラットフォーム(データ連携基盤)を構築し、産学民官による「スマートシティたかまつ推進協議会」(29年10月設立)と連携し、データ利活用による地域課題の解決を推進。
- 30年度は福祉・交通分野などでのデータ利活用を推進することとしており、「地域IoT官民ネット」のシンボルプロジェクトにも選定された。

防災分野 (29年度)

観測地点に水位センサー等を設置し、リアルタイムに庁内でデータを把握

観光分野 (29年度)

レンタサイクルにGPSロガーを設置し、外国人観光客の訪問先を把握

福祉分野 (30年度)

ウェアラブル端末による認知症高齢者等の見守り、地域における事故予防を行う

交通分野 (30年度)

ドライブレコーダの記録を分析し、ヒヤリハット発生地点の特定を行う

共通プラットフォーム (FIWARE)



産 学

スマートシティたかまつ推進協議会 (会長: 高松市長)

民 官

防災分野において収集するデータ

水位や避難所安全情報などをセンサーで取得し、早期に安全対策を実施します。

河川・護岸の水位

■ 水位センサー

- 高松市水防計画指定水位観測地点より選定した河川、水路に設置

■ 潮位センサー

- 高松市水防計画指定潮位観測地点より選定した護岸に設置

■ 県防災情報との連携

- 「かがわ防災Webポータル」より水位情報を入手し、県防災情報と地域情報を組み合わせたデータ利活用を実施

避難所の安全情報

■ スマートメーター

- 電力使用量から避難所の開設状況、停電状況を判断

■ スマートフォンアプリ

- 災害時指定職員が、避難所の開設の有無、避難者情報など、避難所の状況を入力

河川・護岸



水位/潮位センサー

通信制御盤



かがわ防災Webポータル

避難所施設



分電盤



センサー



スマートメーター

データの可視化

高松市ダッシュボード



リアルタイムのデータ可視化による早期の災害対策

- 街区における冠水や浸水を可視化
土嚢手配措置、交通事業者への周辺状況通知を実施
 - **氾濫・高潮に対する減災を実行**
- 避難所の使用可否の迅速な把握や避難所周辺エリアの停電確認
 - **住民に対する、より正確な避難に対する発令判断**

制御ボックス、水位センサーを設置する。

- ① 制御ボックスを、既設電柱や既設街灯、壁面等に取り付ける。
- ② 水位センサーを、護岸等（コンクリート面）に固定する。

設置イメージ



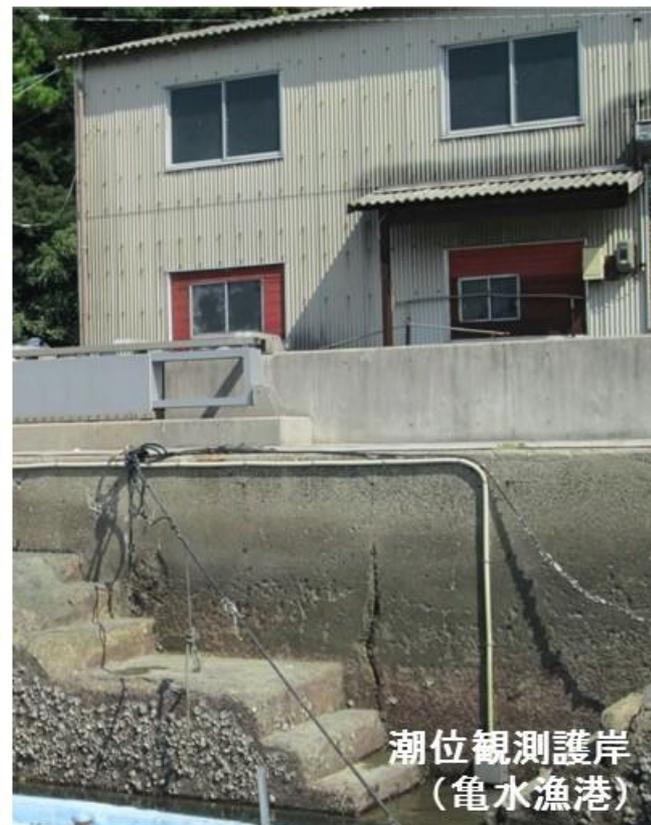
制御ボックス設置(例)



水位センサー設置
(例)



水位観測河川・水路
(中ノ川)



潮位観測護岸
(亀水漁港)

レンタサイクルの利用動態から特に外国人観光客の動態を分析し、施策展開します。

GPSロガーによるデータの蓄積

■ 起終点の把握

- 座標データより、自転車利用の出発地、目的地の位置が把握可能

■ 利用経路・行動範囲の把握

- 座標データより、自転車が通過した軌跡が分かり、走行した利用経路が把握可能

■ 移動時刻・滞在時間の把握

- ログの取得時刻により、移動時刻や到着時刻、目的地における滞在時間が把握可能

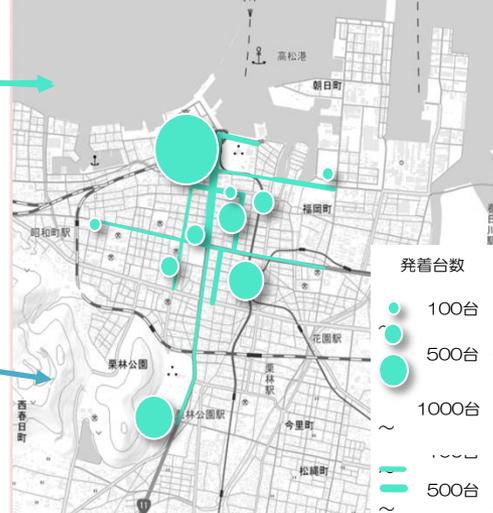
利用者登録

■ 利用者属性・目的等の把握

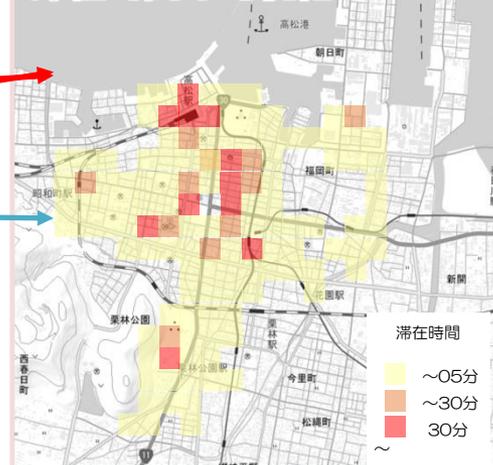
- 利用者登録より、利用者属性(性年代、国籍) や利用目的を把握

データの可視化

出発地・目的地・移動経路の可視化



滞在時間の可視化



観光・MICEの振興

- レンタサイクルを使用する外国人観光客の訪問先を把握し、多言語対応
- レンタサイクルを使用する観光客の訪問先を把握し、新たな観光資源を発掘

- 上記により、高松を訪れる観光客の満足度向上や、新たな観光資源を活用した観光施策を展開

レンタサイクルの自転車50台にGPSロガーを取り付ける。



観光分野のダッシュボード画面表示

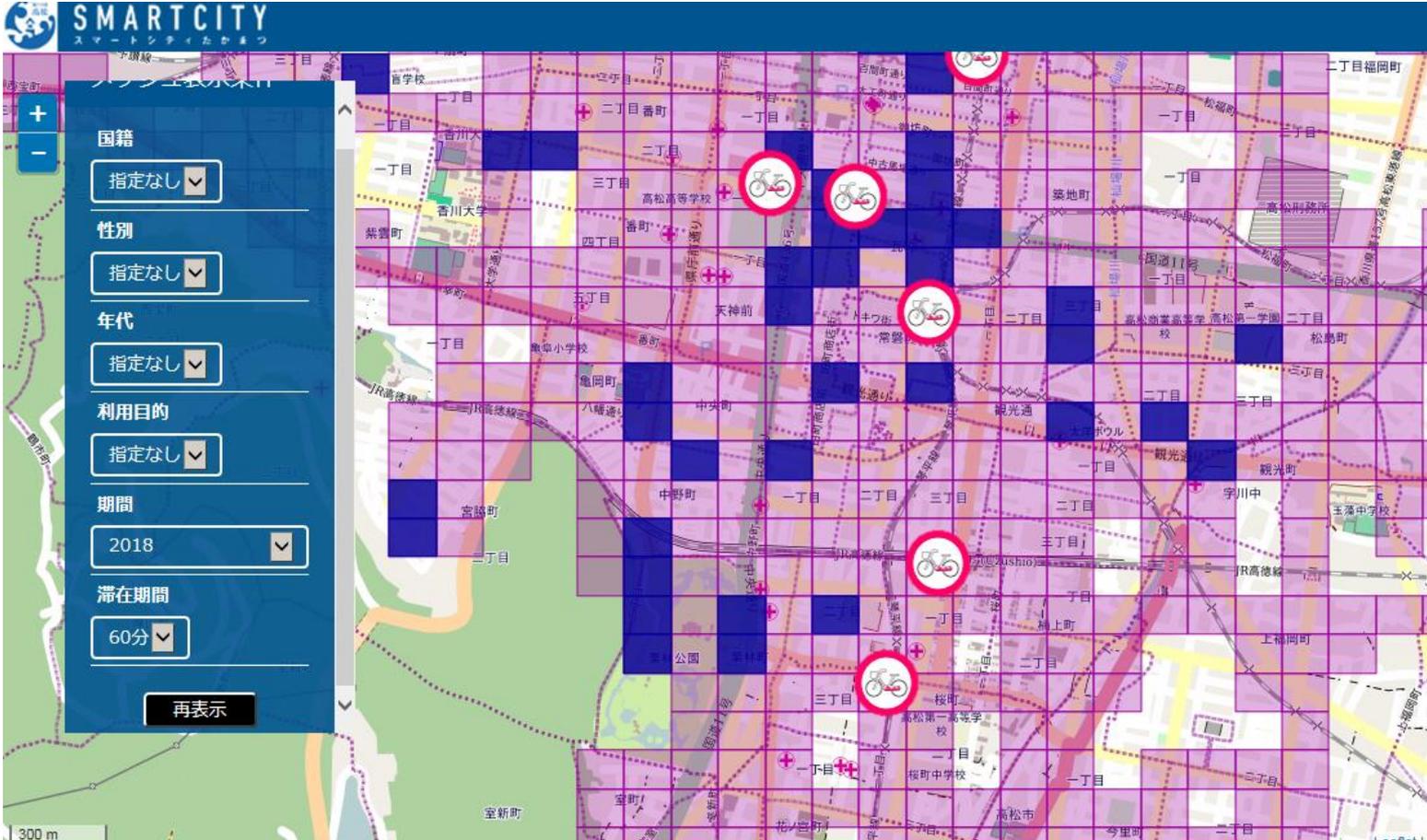
平井 賢太郎 ログアウト

- 指定緊急避難場所
- レンタサイクルポート

アイコン表示

対象外避難所を除く

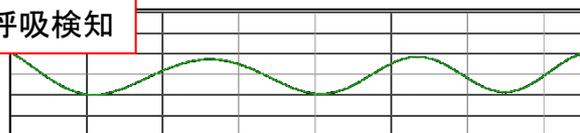
-  水位
-  水位 (具防災)
-  潮位
-  潮位 (具防災)
-  降雨量
-  指定避難所
-  指定緊急避難場所
-  レンタサイクルポート
-  出発地・目的地
-  滞在時間
-  移動経路



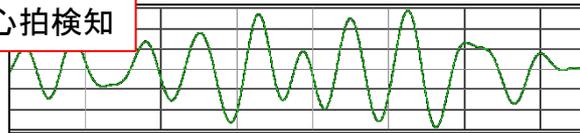
- 高齢者見守りへのICTの活用として、香川高専、(株)ミトラとの連携協定に基づいて、呼吸や心拍等のバイタル情報が把握できるウェアラブルIoT機器を開発し、ICTを活用した地域包括ケアシステムの構築の推進を図る。
- 「地域一体型バーチャルケアによる介護予防推進事業」として、平成30年度総務省「IoTサービス創出支援事業」に採択。



呼吸検知



心拍検知



緯度経度



加速度(転倒等の姿勢検知)



■ 実証実験の様子

高松市主催の健康講座受講者
(比較的元気な高齢者)

実施日：10月14日

場 所：瓦町健康ステーション (高松市瓦町)



【受付にて機器を装着】



【講座前に基本動作を測定】



【講座中の測定】

高松市内の通所介護事業所の利用者
(介護保険の要支援・要介護認定者)

実施日：10月15日

場 所：エデンの丘デイサービスセンターえんがわ(高松市鶴市町)



【デイサービスでのラジオ体操1】



【デイサービスでのラジオ体操2】



【スタッフによる測定・記録】

産学民官連携の仕組み

スマートシティたかまつ推進協議会の設立

- 平成29年10月に、産学民官の連携を通じて、共通プラットフォームを活用した、官民データの収集・分析による地域課題の解決を目指し、スマートシティたかまつ推進協議会（会長・大西高松市長）を設立。（会員40者、オブザーバー3者(30年11月現在)）

【ICTベンダー】

日本電気(株)四国支社
 富士通(株)四国支社
 (株)セールスフォース・ドットコム
 (株)四国日立システムズ
 (株)富士通四国インフォテック
 T I S(株)
 (株)イノベイト

【通信ネットワーク事業者】

(株)STNet
 西日本電信電話(株)香川支店
 ソフトバンク(株)
 KDDI まとめてオフィス
 西日本(株) 四国支社
 (株)NTTドコモ 四国支社

【シビックテック】

Code for Sanuki

【金融機関】

(株)百十四銀行
 (株)香川銀行

【行政】

高松市
 総務省（オブザーバー）
 経済産業省（オブザーバー）
 香川県（オブザーバー）

【サービス事業者】

四国電力(株)
 高松琴平電気鉄道(株)
 (株)ミトラ
 (一財)百十四経済研究所
 高松丸亀町商店街振興組合
 (有)電マーク
 サイテックアイ(株)
 (株)DynaXT
 (株)福山コンサルタント
 (株)四国ガス高松支店
 (一社)日本地域資源
 リサイクル協会
 (一社)データクレイドル
 損害保険ジャパン日本興亜(株)
 高松支店法人支社
 総合警備保障(株)香川支社
 (一社)日本自動車連盟香川支部
 昭和シェル石油(株)四国営業所
 株式会社電脳交通
 リコージャパン(株)香川支社
 高松空港株式会社
 協和テクノロジズ(株)
 (株)フソウ

スマートシティたかまつ 推進協議会

総会

運営委員会

WG

WG

WG

...

【大学・高専等研究教育機関】

国立大学法人香川大学
 独立行政法人
 国立高等専門学校機構
 香川高等専門学校
 高松大学

(平成29年10月設立)

スマートシティたかまつ推進協議会

(平成30年2月～8月)

(平成30年2月～8月)

交通事故撲滅WG

- ・交通マナー向上を図るため、営業車等のドライブレコーダーに記録されたビッグデータを収集・分析

(平成30年5月設立)

交通データ流通活用WG

- ・交通事業者の時刻表等のデータを統一フォーマット(GTFS)に変換し、更なる活用可能性を検討

(平成30年5月設立)

(平成30年8月設立)

防災IoT活用WG

- ・既存の水位・潮位データ等に加え、効果的な防災IoTの拡充策を検討(通行止め、停電等)

健康づくり支援WG

- ・健康経営のインセンティブとして企業が付与する地域ポイントの用途と効果の分析方法を検討

観光情報利活用WG

- ・散在する観光情報を利活用するための方法及び観光客の満足度向上につながる情報発信の方策を検討

圏域愛称について



綾川町



高松市



さぬき市



直島町



東かがわ市



三木町



小豆島町



土庄町

圏域愛称について

現在、全国の形成圏域における事業等に愛称を活用し、圏域での連携や、愛着の醸成に活用している事例が増加傾向にある。

形成圏域	愛称活用事例
八戸圏域連携 中枢都市圏	都市圏全体の愛称を「八戸都市圏スクラム8」とし、行政の取組への活用のほか、連携自治体の職員名刺への活用や、ロゴマークの使用によるデパート等での特産品コーナー設置、愛称を用いた地域組織等の設立など、幅広く活用されている。
山口県央連携 都市圏域	全国での公募により、圏域愛称を「山口ゆめ回廊」と決定。今後、広く愛称を活用した連携事業の展開を予定。
とやま呉西圏域	ビジョンに掲げる重点プログラムとして、「5星(呉西)-FIVE☆STAR-プロジェクト」を推進している。
因幡・但馬麒麟の まち連携中枢都市圏	圏域名称に愛称を用いており、連携事業やDMO法人においても、「麒麟のまち」の愛称が活用されている。
播磨圏域連携 中枢都市圏	地域ブランドとして、「豊穰の国・はりま」を確立させ、イオン株式会社などとの包括連携協定を締結し、特産品販売を促進している。
しずおか中部 連携中枢都市圏	地域ブランドとして、「駿河ブルーライン」を確立させ、水産物やこれを用いたメニュー、観光コースなどに活用し、圏域外へプロモーションしている。

